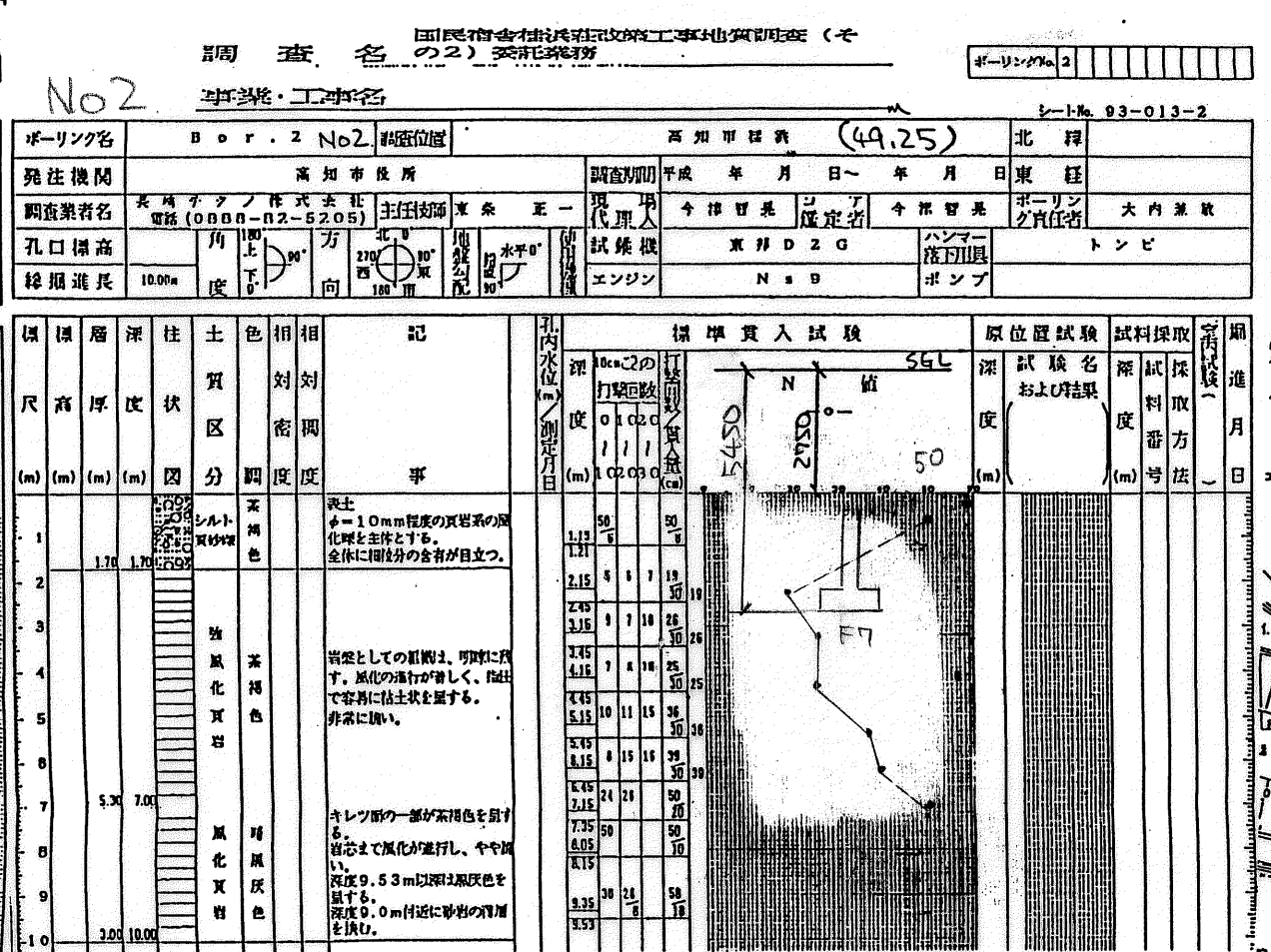
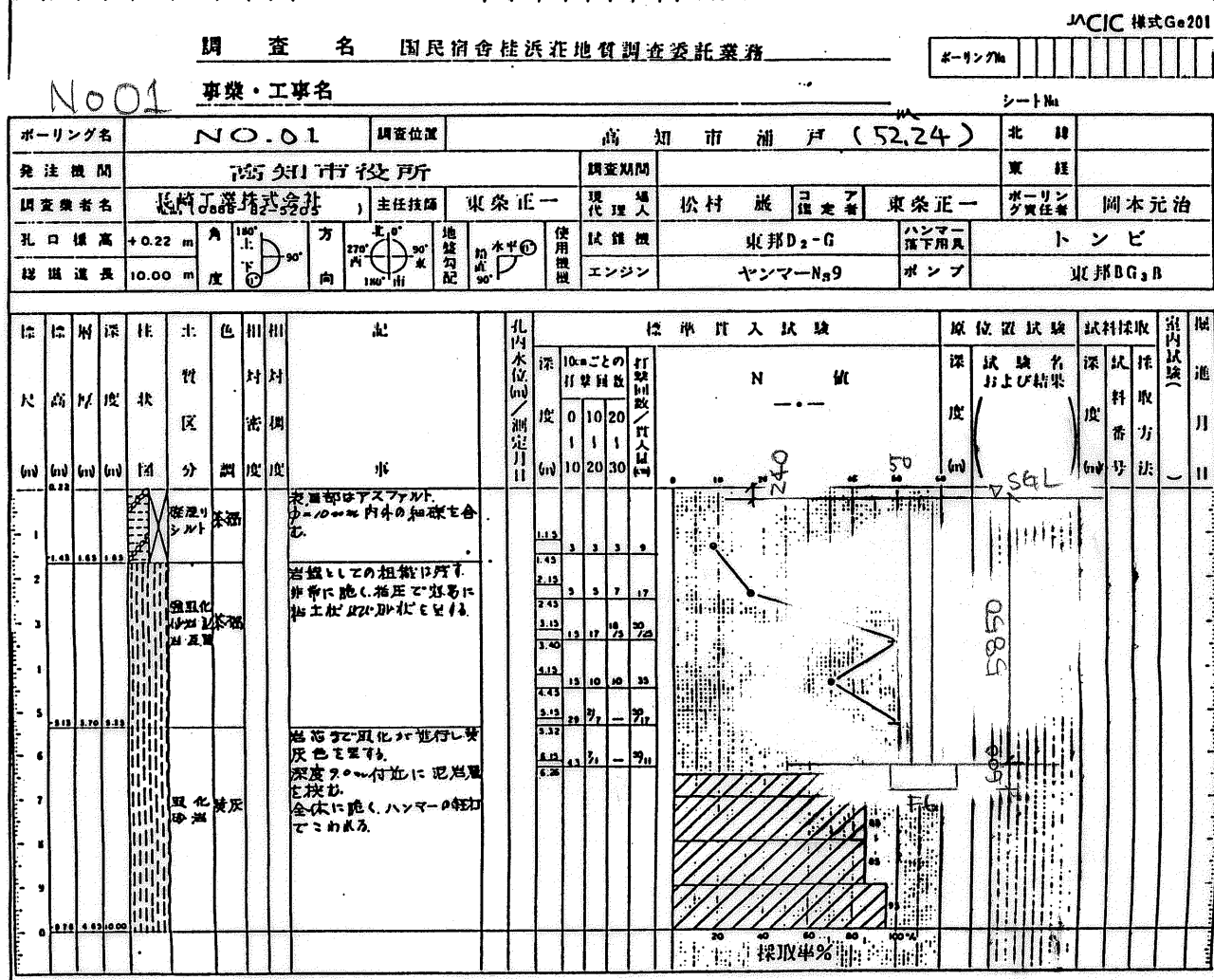
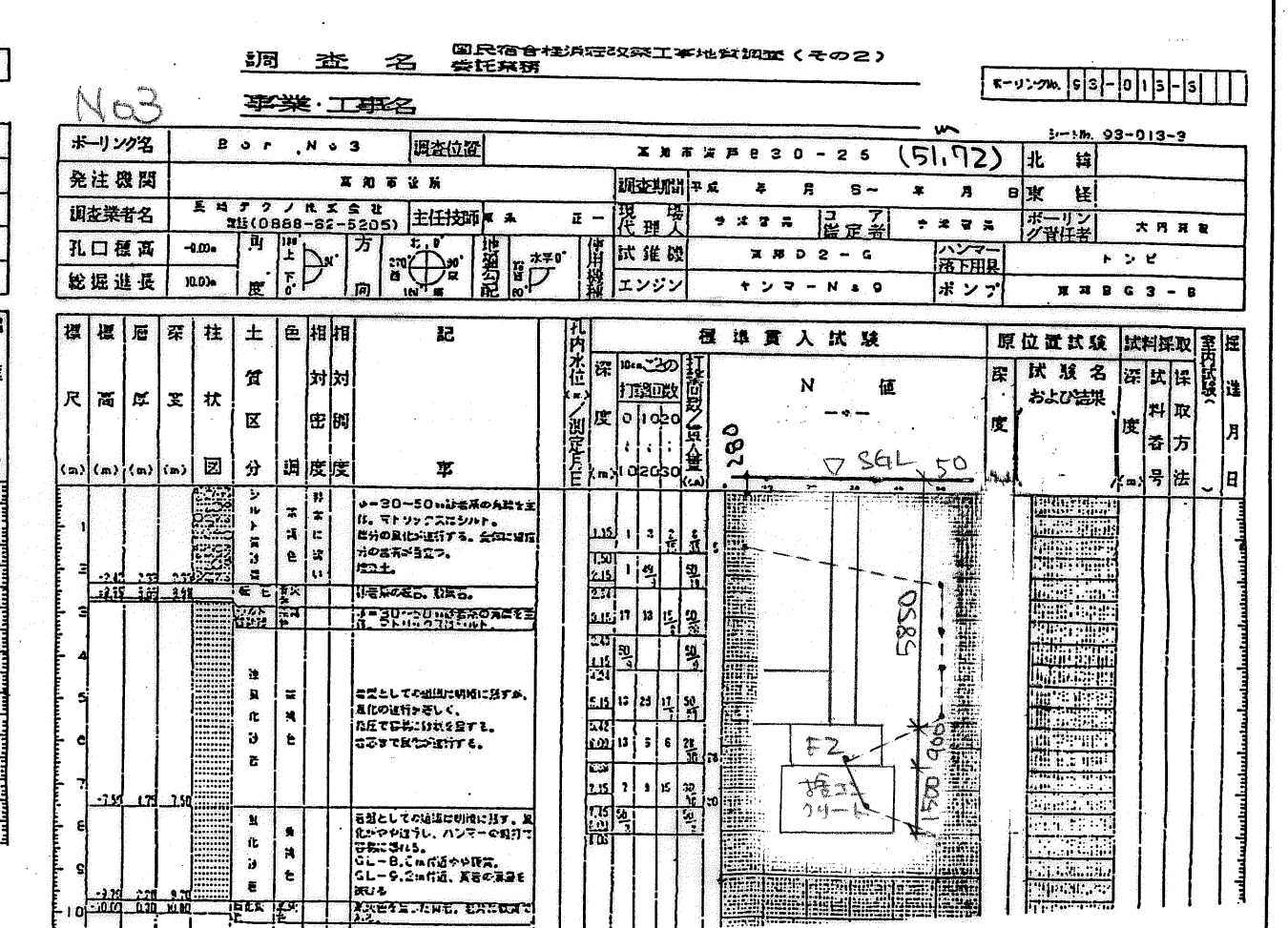
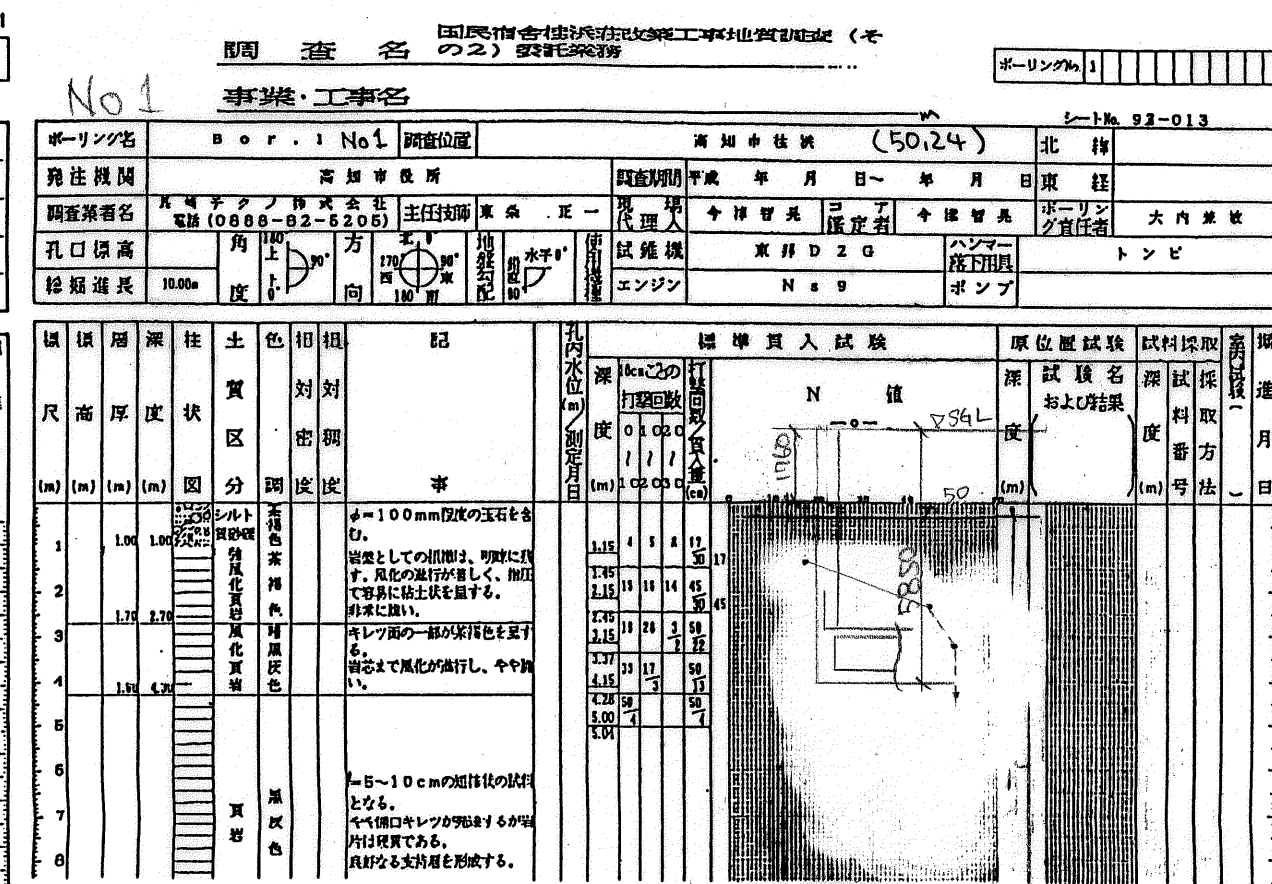
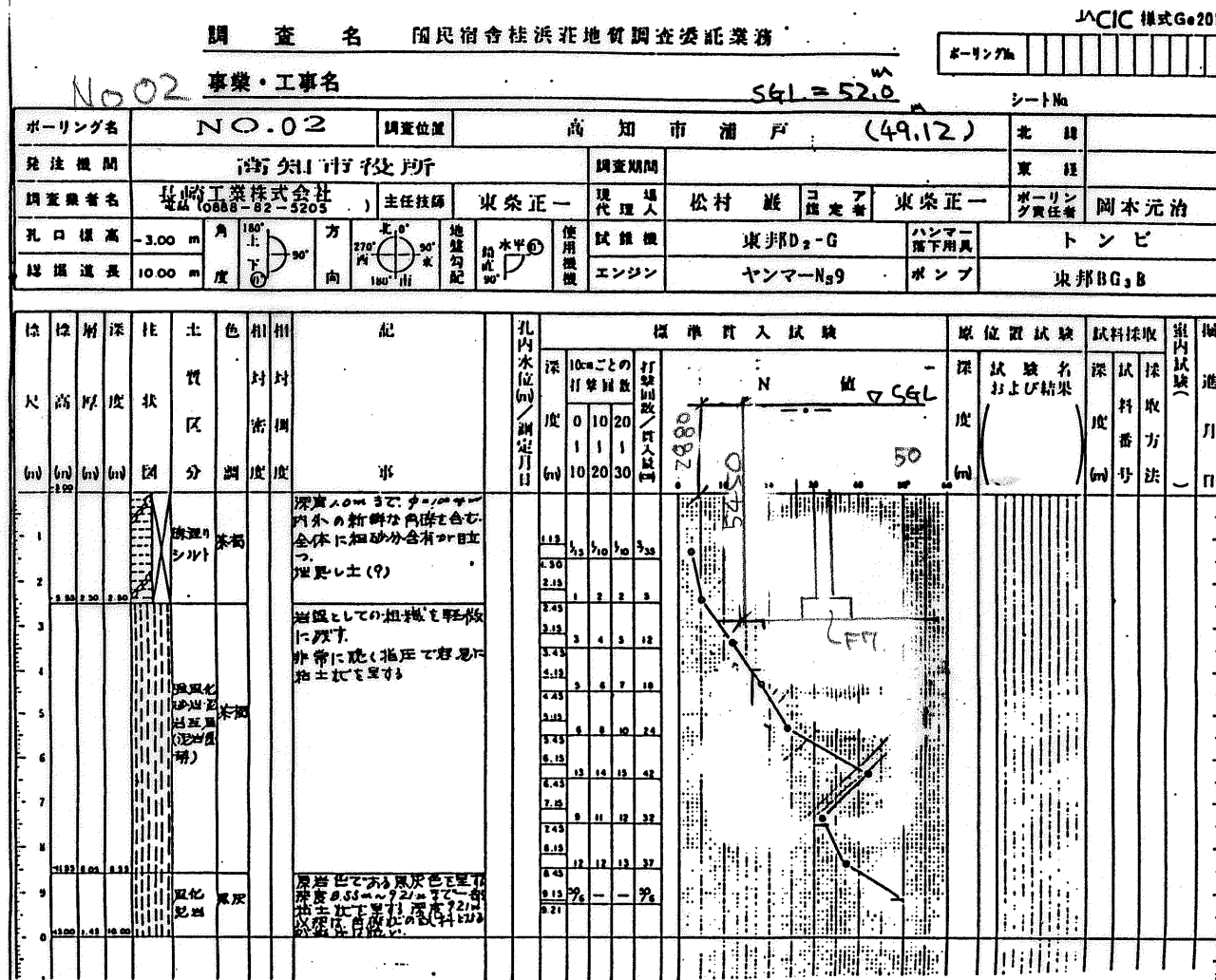
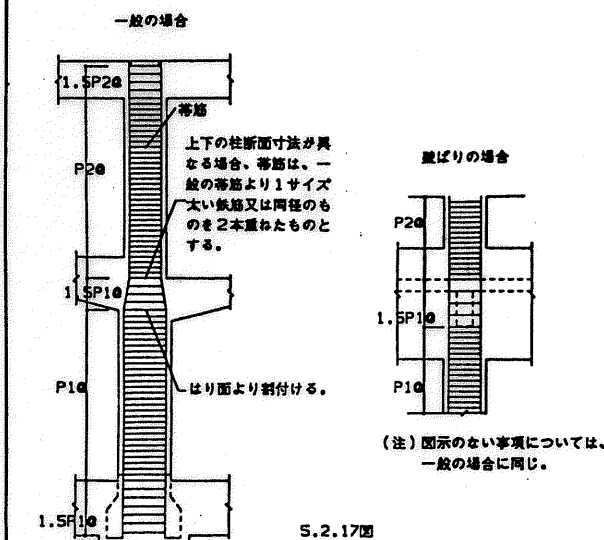


地業工事
鉄筋・コンクリート工事
鉄骨工事
②砂・砂利・割り石・捨てコンクリート地盤
②鉄筋等 JIS規格品とする。
②鋼材 JIS規格品とする。
②高力ボルト
②ボルト・ナット・座金およびアンカーボルト
②打込み
②仮組立
②溶接部の超音波探傷検査
②防錆塗装

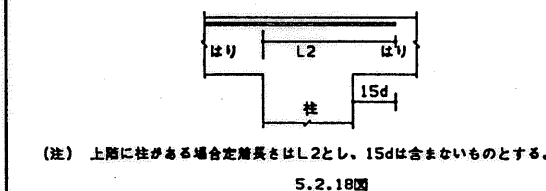


- (3) フック及び継手の位置は、交互とする。
(4) 部材の割付け

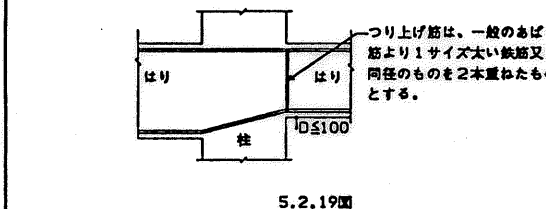


- 5.2.18
(a) 大げり筋の継手及び定着

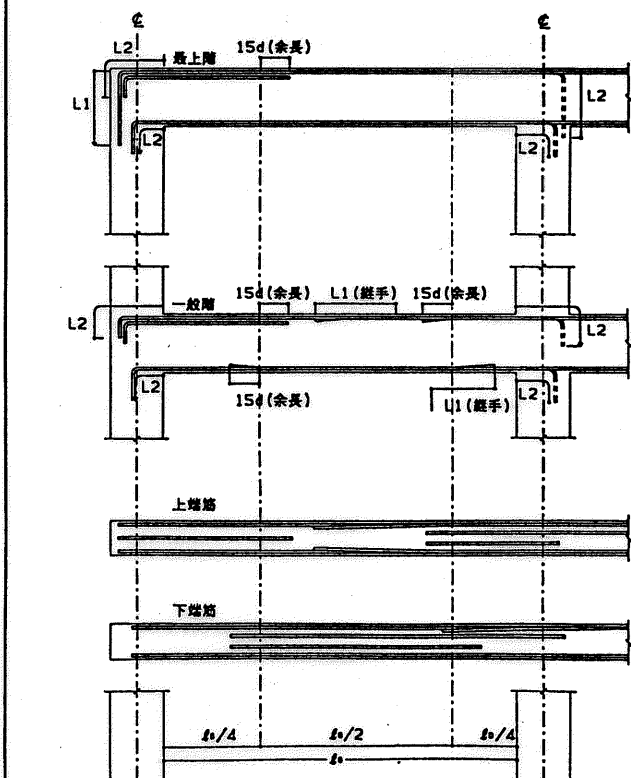
- (1) 一般事項
(i) 継手及び圧接中心位置は、下記による。
上端筋—中央 $\leq \frac{L}{2}$ 以内
下端筋—両端 $\leq \frac{L}{4}$ 以内
(ii) 継手長さは L とし、定着長さは、5.2.20図及び5.2.21図による。
(iii) はり筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ずはり内に定着する場合は、5.2.19図による。



- (iv) はり筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を越えてから縦に降ろす。
(v) はり筋にハンチをつける場合、その傾斜は特記による。特記がなければ1:4とする。
(vi) 除くはり筋は、監督員の承認を受けて、5.2.19図によること、ができる。



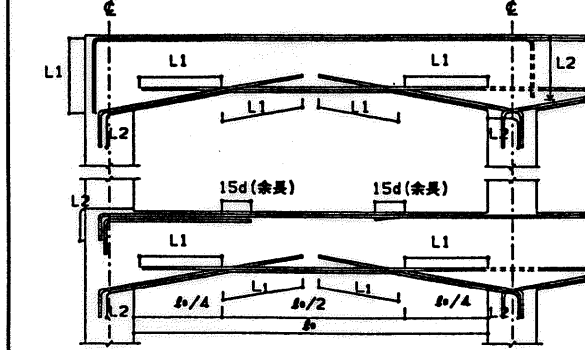
- (2) 異形鉄筋でハンチのない場合



- (注) 1. 5.2.1(i)で定めた鉄筋には、フックをつける。
2. 印は、継手及び定着位置を示す。
3. 破線は、柱内定着を示す。

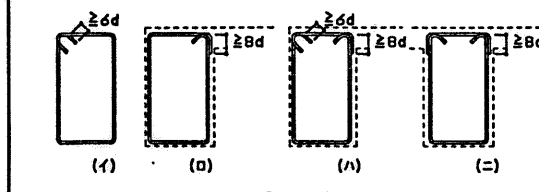
5.2.20図

- (3) 異形鉄筋でハンチのある場合



5.2.21図

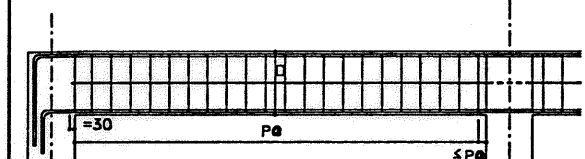
- (b) あばら筋、腹筋及び幅止め筋
(1) 一般事項
(i) あばら筋は特記による。
(ii) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000程度とする。
(iii) 腹筋に継手をつける場合の継手長さは、150mm程度とする。
(iv) 幅ばり筋の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければ L とする。
(2) あばら筋組立ての形及びフックの位置
(i) 形は、5.2.22図(i)とする。ただし、L形の場合は(ii)又は(iii)及びT形の場合は(ii)-(c)とすることができる。



5.2.22図

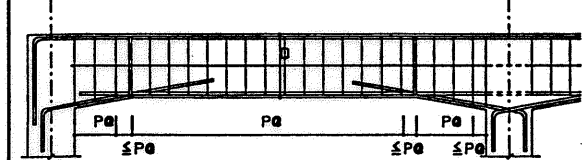
- (ii) フックの位置は、(i)の場合は交互とし、(ii)の場合は、L形では床版のつく側、T形では交互とする。
なお、(iii)の場合は床版のつく側を90°折曲げとする。

- (3) あばら筋の割付け
(i) 間隔が一様でハンチのない場合



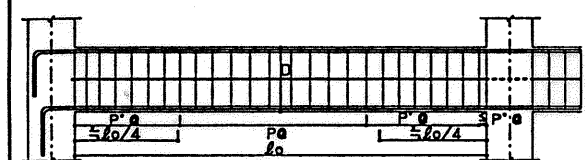
5.2.23図

- (ii) 間隔が一様でハンチのある場合



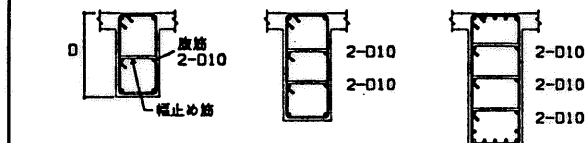
5.2.24図

- (iii) はりの端部で間隔の異なる場合



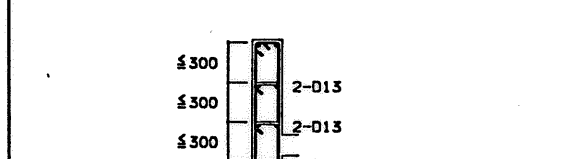
5.2.25図

- (4) 腹筋及び幅止め筋
(i) 一般のはり
400 ≤ D ≤ 900 900 ≤ D ≤ 1,200 1,200 ≤ D ≤ 1,500
2-D10 2-D10 2-D10
幅止め筋 2-D10 2-D10 2-D10



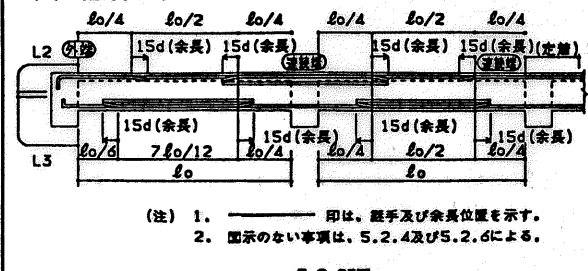
5.2.26図

- (ii) 壁ばり



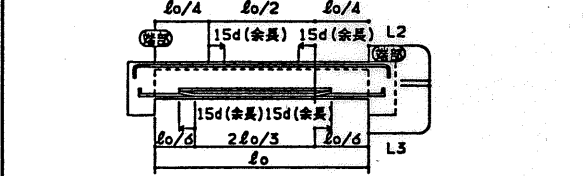
5.2.27図

- 5.2.27
小ばり及び片持ちばり
(a) 小ばり筋の継手及び定着
(1) 連続小ばり

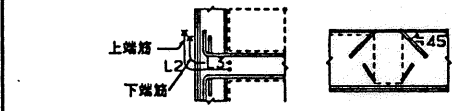


5.2.27図

- (2) 単独小ばり

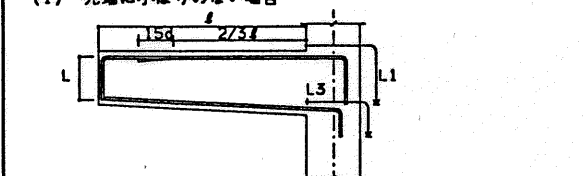


5.2.28図



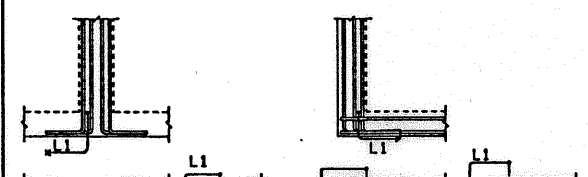
5.2.29図

- (b) 片持ちばり筋の定着
(1) 先端に小ばりがない場合



5.2.30図

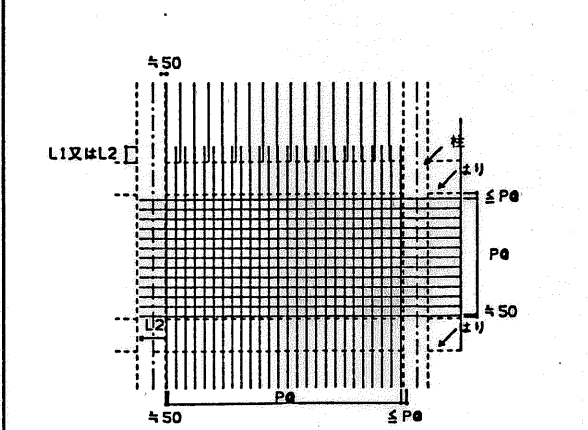
- (2) 先端に小ばりがある場合



5.2.31図

- 5.2.8
壁

- (a) 一般事項
(1) 壁筋の継手及び長さは、 L とする。
(2) 土圧などを受ける壁及び耐震壁として、特記されたものは、継手長さを L とし、定着長さを L とする。
(3) 継手及び定着のとれない場合は、監督員の承認を受けて、両面フレア溶接の場合は $5d$ 以上、片面フレア溶接の場合は、 $10d$ 以上とすることができる。
(4) 幅止め筋は、縦、横ともD10-1,000程度とする。
(5) 一般部壁筋の配筋は、5.2.29図による。



5.2.29図

- (b) 壁の基準配筋は、5.2.6表により、種別は特記による。
なお、外部に面する壁及び垂れ壁の配筋は、5.2.8表による。

種別	配筋及び構造	断面	図
W10	D10-2500シングル	100	
W12	D10-2000シングル	120	
W15	A D10-1500シングル B D10-1000シングル	150	
W18	A D10-2000ダブル B D10-1500ダブル	180	
W20	A D10-2000ダブル B D10-1500ダブル	200	

(注) 壁筋の配筋順序は問わない。

- (c) 片持ち床版形階段を受ける壁の基準配筋は、5.2.7表により、種別は特記による。

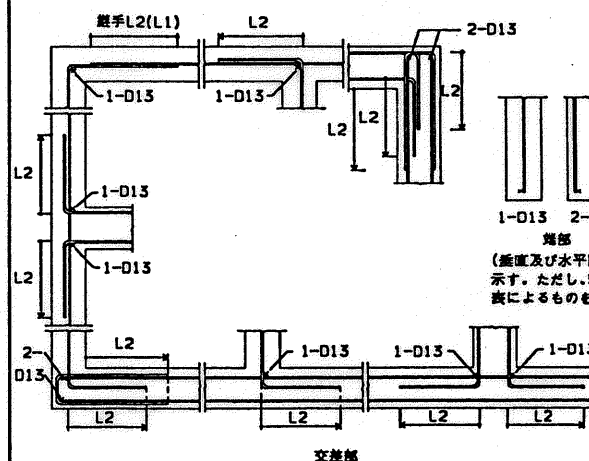
種別	配筋及び構造	断面	図	配筋種別 (5.2.16表)
KN1	縦筋 D15-2000ダブル 横筋 D10-2000ダブル	180		KA1, KA3
KN2	縦筋 D15-1500ダブル 横筋 D10-2000ダブル	200		KA2, KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配列する。

- (d) バラベット並びに外部に面する、壁筋及び垂れ壁の配筋

施工箇所	コンクリート厚さ (mm)	方向	配筋	先端補強筋
バラベット	特記による	縦	D10-1500 ダブル	D10-1500
		横	D10-1500 ダブル	4-D15
外部に面する壁筋及び垂れ壁	150	縦	D10-1500シングル	
		横	D10-1000シングル	2-D15 4-D15
	180	縦	D10-2000 ダブル	
		横	D10-1500 ダブル	

- (e) 交差部及び端部の配筋



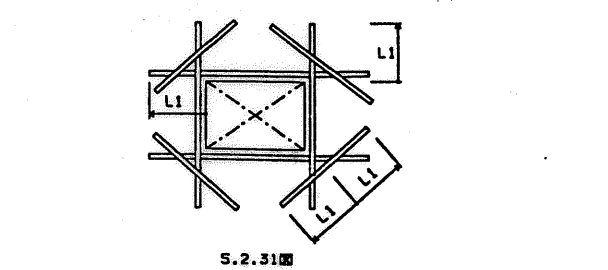
5.2.32図

- (f) 壁開口部の補強
(1) 壁開口部の補強は、5.2.9表のA形及び5.2.10表のB形とし、特記がなければA形とする。ただし、耐震壁を除く。

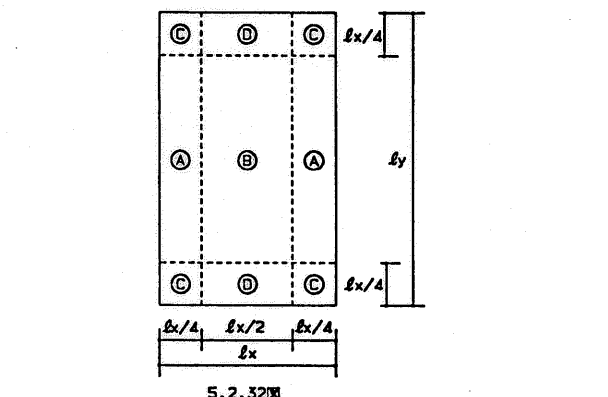
壁の種別	補強筋	縦、横	斜め
W12, W15	1-D15	1-D15	
W18, W20	2-D15	2-D15	

壁の種別	補強筋	縦、横	斜め
W12, W15	2-D15	1-D15	
W18, W20	4-D15	2-D15	

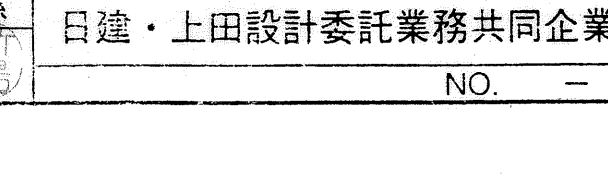
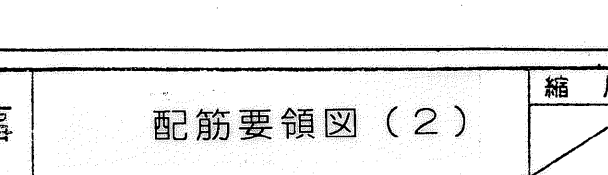
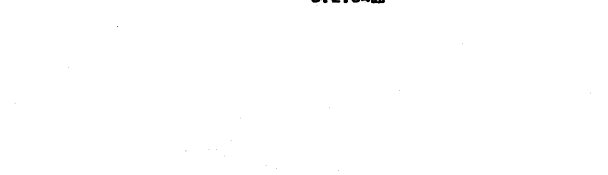
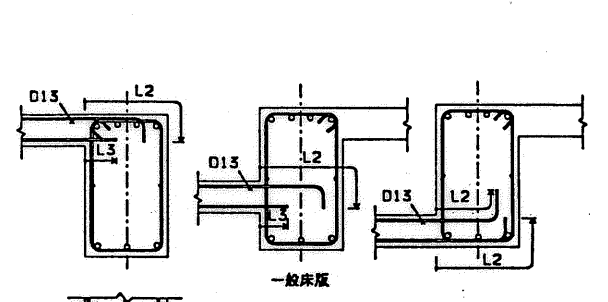
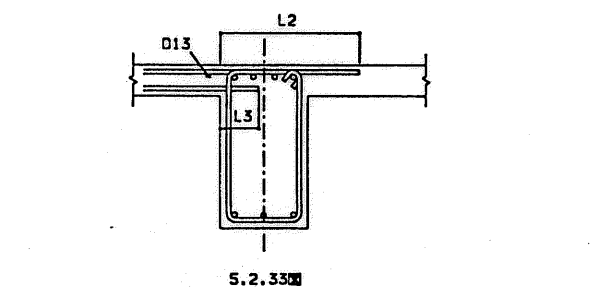
- (2) 壁開口部補強の定着長さ



- 5.2.9
床
(a) 一般事項
(1) 床版の基準配筋は、5.2.11表〜5.2.15表により、配筋種別及び厚さは、特記による。
配筋は、中央から割付け、端部は定められた間隔の1/2以下とする。
なお、5.2.11表及び5.2.12表の③、④、⑤の位置は、5.2.32図による。



- (2) A形及びB形基準配筋の折曲げ位置は、周辺より $\frac{1}{2} \times \frac{L}{4}$ の位置 (5.2.32図の点線位置) とし、その位置に1-D15を配筋する。
(3) 鉄筋の継手長さは、 L とする。
(4) 定着長さ及び受け筋は、5.2.33図による。ただし、引通すことができない場合は、5.2.34図によりはり内に定着する。
なお、E形及びF形配筋の場合は、下記(b)(4)による。



鉄筋の種別は 下記の通り読み替えるものとする
SR24 → SR235
SD30A → SD295A
SD30B → SD295B
SB35 → SD345
SD40 → SD390

国民宿舎桂浜荘改築工事

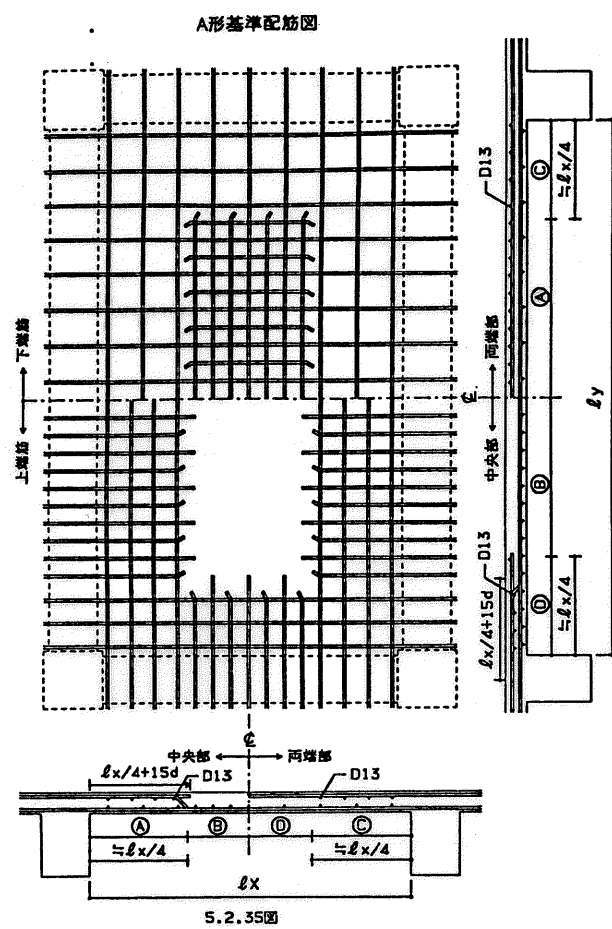
配筋要領図 (2)

縮尺 図番

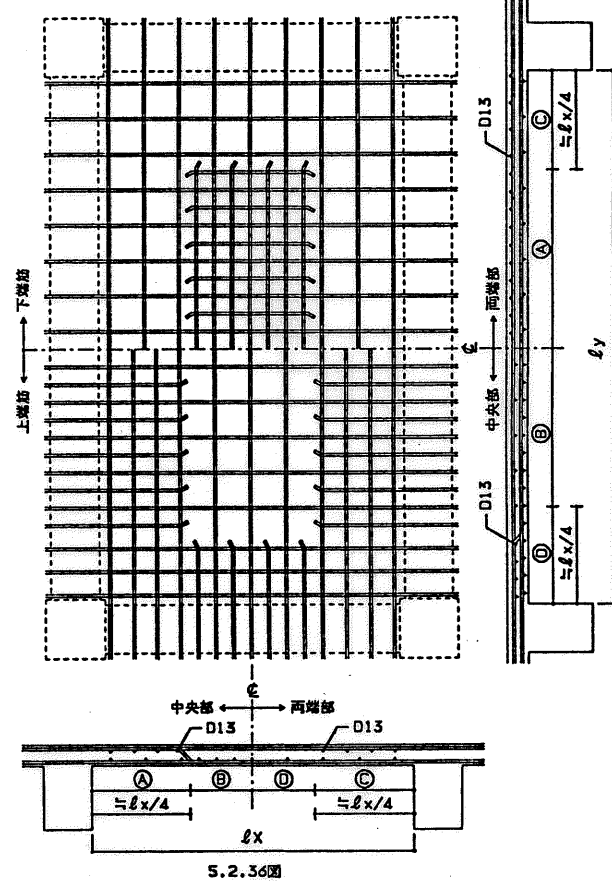
高知市建設課 課長 補佐 係長 係 係
築住宅課

日建・上田設計委託業務共同企業体

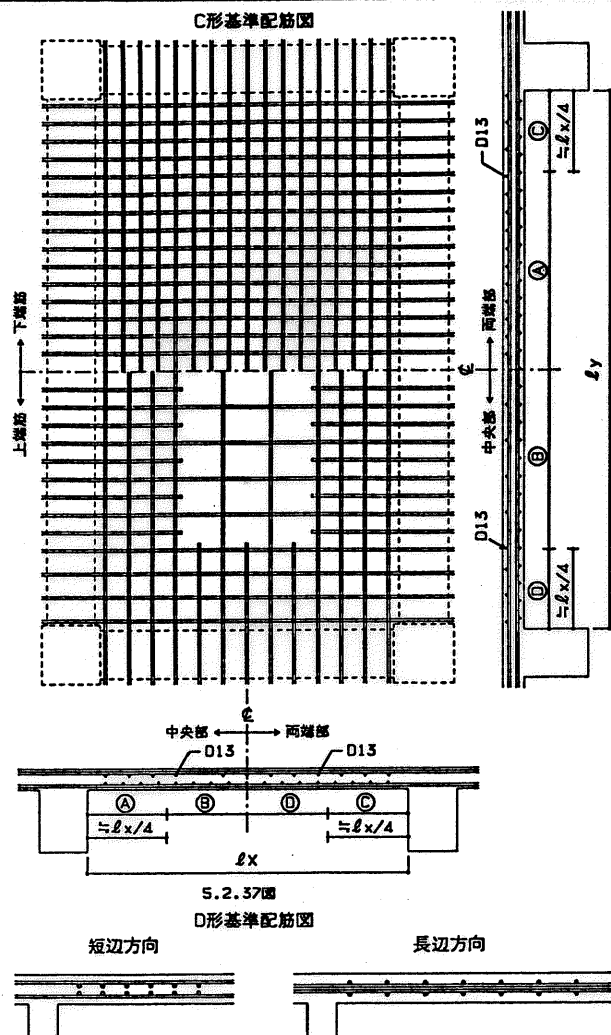
NO. 1



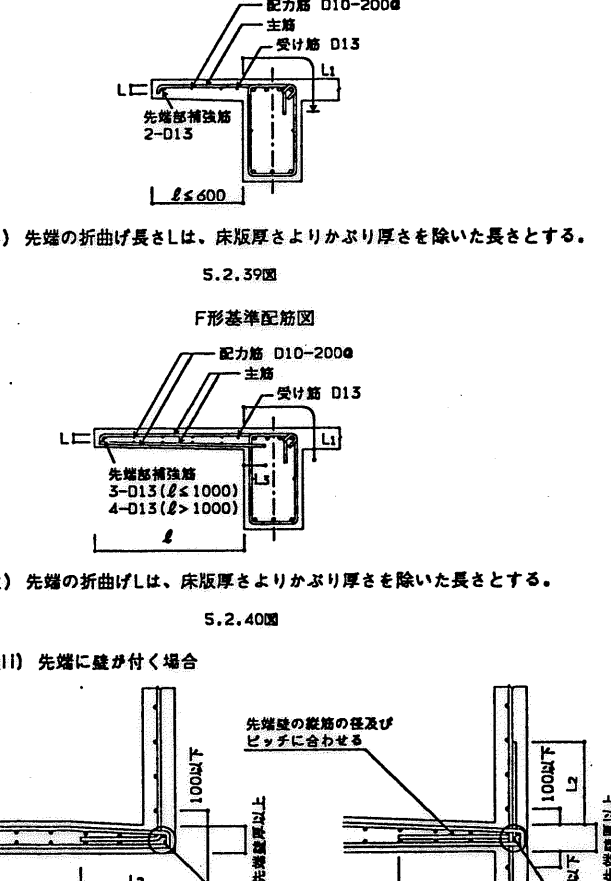
A形基準配筋図



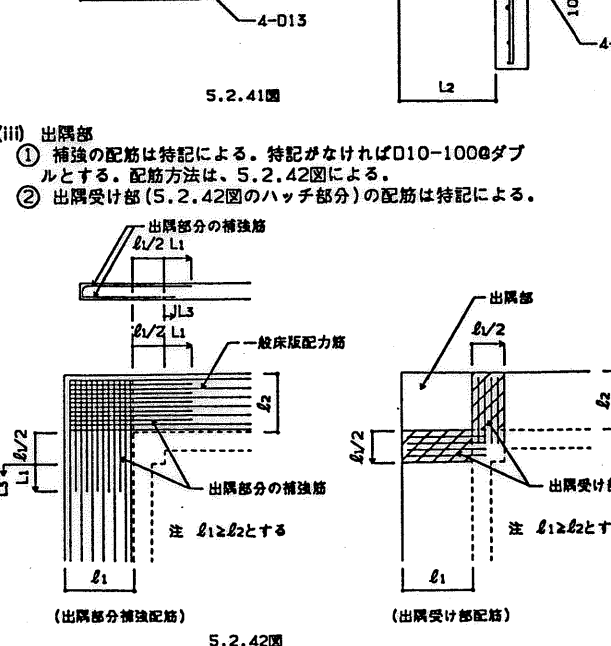
B形基準配筋図



C形基準配筋図



D形基準配筋図

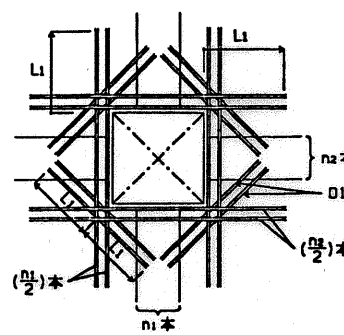


E形基準配筋図



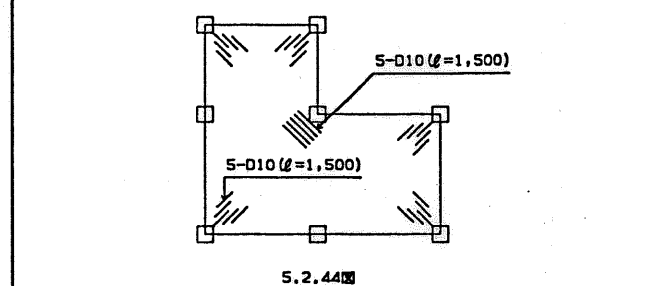
F形基準配筋図

(a) 床版開口部の補強
床版開口部の補強は特記による。特記がなければ下記による。
(1) 床版開口部の最大径が700mm以下の場合は、5.2.43図により開口
によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に
斜め方向に2-D10 (φ=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。



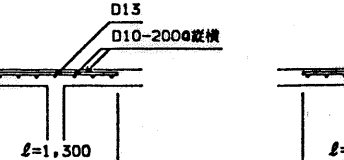
5.2.43図

(11) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに
に曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強
を省略することができる。



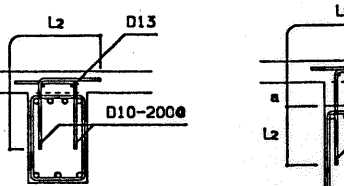
5.2.44図

(2) 壁付き床版
床版に上層筋がなく、壁が付いている場合には、5.2.45図の補
強筋を入れる。



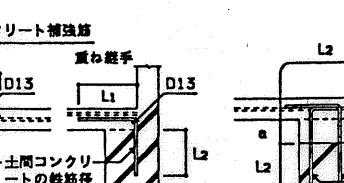
5.2.45図

(3) 土間床版の打継ぎ補強筋
基礎ばりとは床版を一体打ちとしない。打継ぎを設ける場合の
補強は特記による。特記がなければ5.2.46図による。



5.2.46図

(4) 土間コンクリートの補強筋
土間コンクリートの補強筋は特記による。
なお、基礎ばりとの接合部は5.2.47図による。



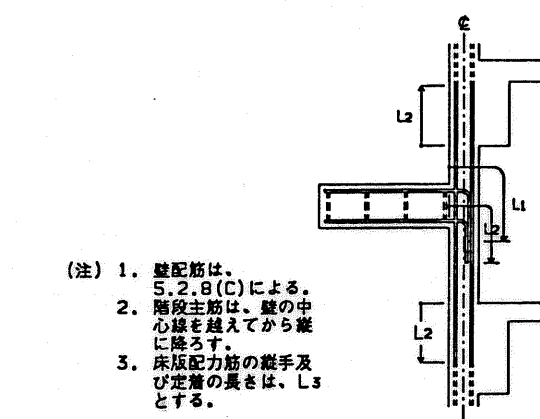
5.2.47図

5.2.10 段
階段の基準配筋は、5.2.16表及び5.2.17表により、形状、寸法及び
配筋種別は、特記による。

(1) 片持ち床版形

5.2.16表 片持ち床版形基準配筋

配筋種別	配筋図	配筋種別	配筋図
KA1	D13	KA2 (K1)	2-D13
KA3	D10-300φ	KA4	D10-300φ

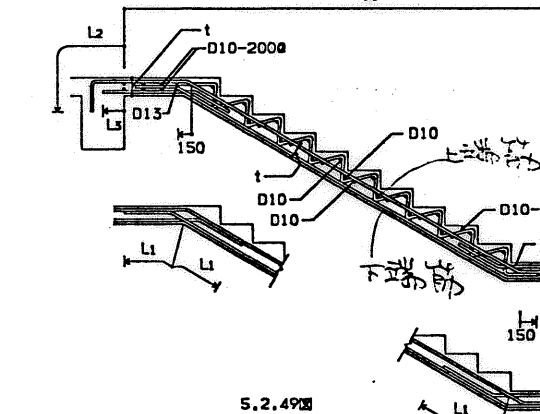


5.2.48図

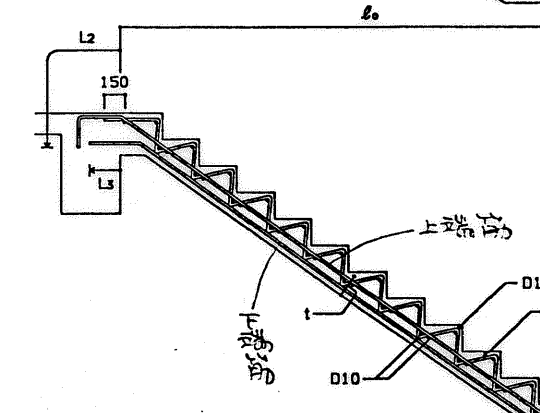
(2) 二辺固定床版形

5.2.17表 二辺固定床版形基準配筋

配筋種別	床版厚さ t (mm)	全 域 (上下 2層筋)
KB1	150	D13-200φ
KB2	150	D13-150φ
KB3	150	D13-100φ
KB4	180	D13, D16-150φ
KB5 (K2)	180	D16-150φ
KB6	180	D16-125φ
KB7	200	D16-100φ

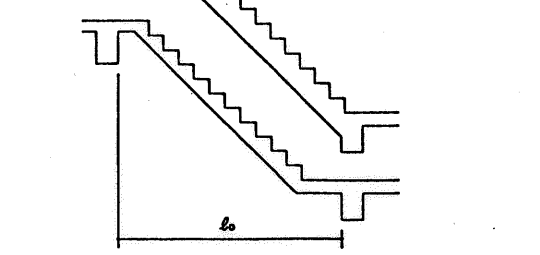


5.2.49図



5.2.50図

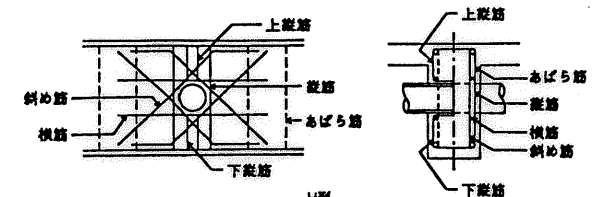
(注) 下図の場合にも二辺固定床版形基準配筋を準用する。



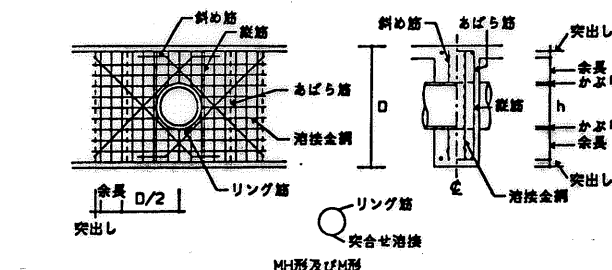
5.2.51図

5.2.11 はり貫通孔の補強

はり貫通孔の補強は特記による。特記がなければ下記による。
(1) はり貫通孔補強筋の名称などは、5.2.51図による。
(2) 孔の径は、はりせいりの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれ
の外縁円とする。
(3) 孔の上・下方向の位置は、5.2.52図による。
(4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直交するはり(小はり)の面か
ら原則として1.2D (Dは、はりせい)以上とする。
(5) 孔が並列する場合は、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以
上とする。
(6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(7) 補強筋は主筋の内側とする。やむを得ない場合は監督員の承認
を受けて外側とすることができ、また、鉄筋の定着長さは5.2.53
図による。
(8) 孔の径がはりせいりの1/10以下かつ150mm未満のものは、補強を省
略することができる。
(9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
(10) 溶接金網に付けるリング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
(11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋
では貫通孔の中心とする。

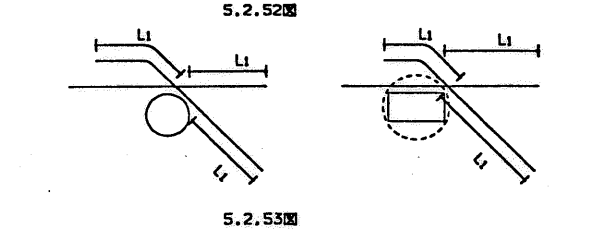


5.2.52図



5.2.53図

(12) 補強形式及び配筋種別は、下表により特記による。
(1) H形配筋



5.2.54図

5.2.18表 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	上下 横筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H6	4-2-D19	2-2-D13	2-2-D13	
H7	4-2-D22	2-2-D13	2-2-D13	

(11) MH形配筋

5.2.19表 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	リング	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	なし	
MH2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-9φ-100φ	なし	
MH4	4-2-D13	2-2-D13	2-9φ-100φ	13φ	
MH5	4-2-D13	2-2-D13	2-9φ-75φ	なし	
MH6	4-2-D13	2-2-D13	2-9φ-75φ	13φ	
MH7	4-2-D16	2-2-D13	2-9φ-75φ	13φ	

(111) M形配筋

5.2.20表 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	リング	配筋図
M1	4-2-D13	なし	なし	
M2	4-2-D13	1-9φ-100φ	13φ	
M3	4-2-D13	2-9φ-100φ	13φ	
M4	4-2-D13	2-9φ-75φ	13φ	
M5	4-2-D13	2-9φ-75φ	13φ	
M6	4-2-D13	2-9φ-75φ	13φ	
M7	4-2-D16	2-9φ-75φ	13φ	

(注) ----- は一般部分のあばら筋を示す。

国民宿舎桂浜荘改築工事

配筋要領図 (3)

高知市建 課長 補佐 係長 係 係
築住宅課

日建・上田設計委託業務共同企業体
NO. -

縮尺 図番
05-

910308	
--------	--

910308	
--------	--

910508 (ロ)スラブの挿入補強鉄筋量は規定鉄筋の50%とする。

910308

0509

の種別は 下記の通り読み替えるものとする

[illegible]

910508

010508	2	(衆員連部御前)
梁幅	80	梁のうちのリスパン
	13	小梁

0308 2. H-30層を焼入し増白はコンクリートノボラノ厚の2倍をとり、 910308

スラブの下端筋の定着長さ	t	リストに示すスラブ又は壁厚さ
--------------	---	----------------

910308	
--------	--

910306	暗証供開口の枚数両領	910306
--------	------------	--------

910508	
--------	--

[illegible]

0500	路尔玛 7: 加捕改要領
------	--------------

署スラズ及バズラケットの配筋要領

10309

1		7-1		7-2		12		13		19																																																																									
1-I 1-R		7		7		12		13		19 エレクトロスラグ溶接																																																																									
<p>注) Sはサイズを示し、tはt1, t2の薄い方の板厚とする。</p> <p>イ:一般 (t≧19)</p> <p>ロ:柱梁仕口 (t≧16)</p> <table border="1"><thead><tr><th>サイズ</th><th>t</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>19</th><th>22</th><th>25</th><th>28</th><th>32</th><th>36</th><th>40</th></tr></thead><tbody><tr><td>イ:一般</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>16</td><td>18</td><td>21</td><td>23</td><td></td></tr><tr><td>ロ:柱梁仕口</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>18</td><td>20</td><td>21</td><td>23</td><td>25</td><td>27</td><td>29</td><td></td></tr></tbody></table>		サイズ	t	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40	イ:一般	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	12	13	14	16	18	21	23		ロ:柱梁仕口	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15	18	20	21	23	25	27	29		<p>6<t≦19</p> <p>裏はつり後裏溶接</p> <p>(t2-t1)>6mm</p> <p>5(t2-t1)</p>		<p>t>19</p> <p>裏はつり後裏溶接</p> <p>(t2-t1)>6mm</p> <p>5(t2-t1)</p>		<p>t>6</p> <p>注) Sはサイズを示し、t/4以上かつ10mm以下とする。</p> <p>一般</p> <p>FB-25×9</p> <p>隅角部</p> <p>FB-25×9</p>		<p>注) Sはサイズを示し、t/4以上かつ10mm以下とする。</p> <p>θ≧45°の場合に適用する。</p> <p>45°≦θ≦55°の場合 α:自然開先</p> <p>55°<θの場合 α≧35°</p> <p>FB-32×9加工</p>		<p>(注) 寸法は3mm以上とする。</p> <table border="1"><thead><tr><th>t1</th><th>t2</th><th>G</th><th>L</th></tr></thead><tbody><tr><td>22~28</td><td>25</td><td>25</td><td>50</td></tr><tr><td>32~36</td><td>28</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		t1	t2	G	L	22~28	25	25	50	32~36	28		
サイズ	t	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40																																																																
イ:一般	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	12	13	14	16	18	21	23																																																																	
ロ:柱梁仕口	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15	18	20	21	23	25	27	29																																																																	
t1	t2	G	L																																																																																
22~28	25	25	50																																																																																
32~36	28																																																																																		
2		8-1		8-2		14		16		20																																																																									
2		8		8		14 鋼管と鋼管の場合		16 鉄筋と鋼板の溶接		20 現場溶接																																																																									
<p>注) Sはサイズを示し、tはt1, t2の薄い方の板厚とする。</p> <p>90°>θ≧75°</p> <p>75°>θ≧60°</p>		<p>6<t≦19</p> <p>裏はつり後裏溶接</p> <p>(t2-t1)>6mm</p> <p>45° 5(t2-t1)</p>		<p>t>19</p> <p>裏はつり後裏溶接</p> <p>(t2-t1)>6mm</p> <p>45° 5(t2-t1)</p>		<p>適用管厚 2≦t≦12</p> <p>交角 30°≦θ≦90°</p> <p>管径比 d≦1/3</p>		<p>注) aはのど厚を示す。</p> <p>aはtかつ0.3d以上。</p> <p>Lは10dかつ100mm以上とする。</p> <p>FB-32×12</p> <p>45° フェーシング加工</p> <p>12以上</p> <p>19</p> <p>シールド</p> <p>2d L 2d</p>																																																																											
3		4		9		10		17		シーム溶接及びダイヤフラム溶接説明図																																																																									
<p>注) サイズ(S) 溶接長(L) および 溶接ピッチ(P) は特記する。</p> <p>L>10S かつ40mm以上</p>		<p>注) サイズ(S)は 1-I による。</p> <p>サイズは板厚の異なる場合、薄い板厚tで決める。</p>		<p>t>6</p> <p>FB-50×9</p> <p>(t2-t1)>6mm</p> <p>35° 5(t2-t1)</p>		<p>t>6</p> <p>FB-50×9</p> <p>(t2-t1)>6mm</p> <p>35° 5(t2-t1)</p>		<p>(い面) (ろ面) (は面)</p> <p>35° (30)</p> <p>t<40</p> <p>35° (30)</p> <p>t≧40</p> <p>注) ()内は自動溶接の場合を示す。</p>																																																																											
5		6		11-1		11-2		15		18																																																																									
5		6 6		11		11		15		18 自動溶接																																																																									
<p>60°</p> <table border="1"><thead><tr><th>サイズ</th><th>t</th><th>6</th><th>7</th><th>9</th><th>10</th><th>12</th><th>13</th></tr></thead><tbody><tr><td>S1</td><td>8</td><td>10</td><td>14</td><td>14</td><td>17</td><td>17</td><td></td></tr><tr><td>S2</td><td>4</td><td>5</td><td>7</td><td>7</td><td>10</td><td>10</td><td></td></tr></tbody></table>		サイズ	t	6	7	9	10	12	13	S1	8	10	14	14	17	17		S2	4	5	7	7	10	10		<p>注) aはのど厚を示し、tは薄い方の板厚とする。</p> <p>aはtかつ3.2mm以上とする</p> <p>60°</p>		<p>6<t≦19</p> <p>注) Sはサイズを示し、t/4以上かつ10mm以下とする。</p> <p>45°</p> <p>裏はつり後裏溶接</p>		<p>t>19</p> <p>注) Sはサイズを示し、t/4以上かつ10mm以下とする。</p> <p>45°</p> <p>裏はつり後裏溶接</p>		<p>注) Sはサイズを示す。</p> <p>60°</p> <table border="1"><thead><tr><th>t1>d</th><th>S=t1</th></tr></thead><tbody><tr><td>4≦t1≦d</td><td>S=d</td></tr></tbody></table>		t1>d	S=t1	4≦t1≦d	S=d	<p>60°</p>		<p>上フランジ部</p> <p>下フランジ部</p>																																											
サイズ	t	6	7	9	10	12	13																																																																												
S1	8	10	14	14	17	17																																																																													
S2	4	5	7	7	10	10																																																																													
t1>d	S=t1																																																																																		
4≦t1≦d	S=d																																																																																		

注記

- 1, この基準図は、特記なき限り手溶接及びガスシールド半自動溶接に依る標準溶接継手の形状を示す。
- 2, 裏あて金はサイズ6mmで連続すみ肉溶接を原則とする。

- 3, t<6mmの場合の突合せ溶接部の開先は不要とする。
- 4, エンドタブは溶接後5mm程度残して除去し端部を仕上げる。

国民宿舎桂浜荘改築工事

溶接基準図

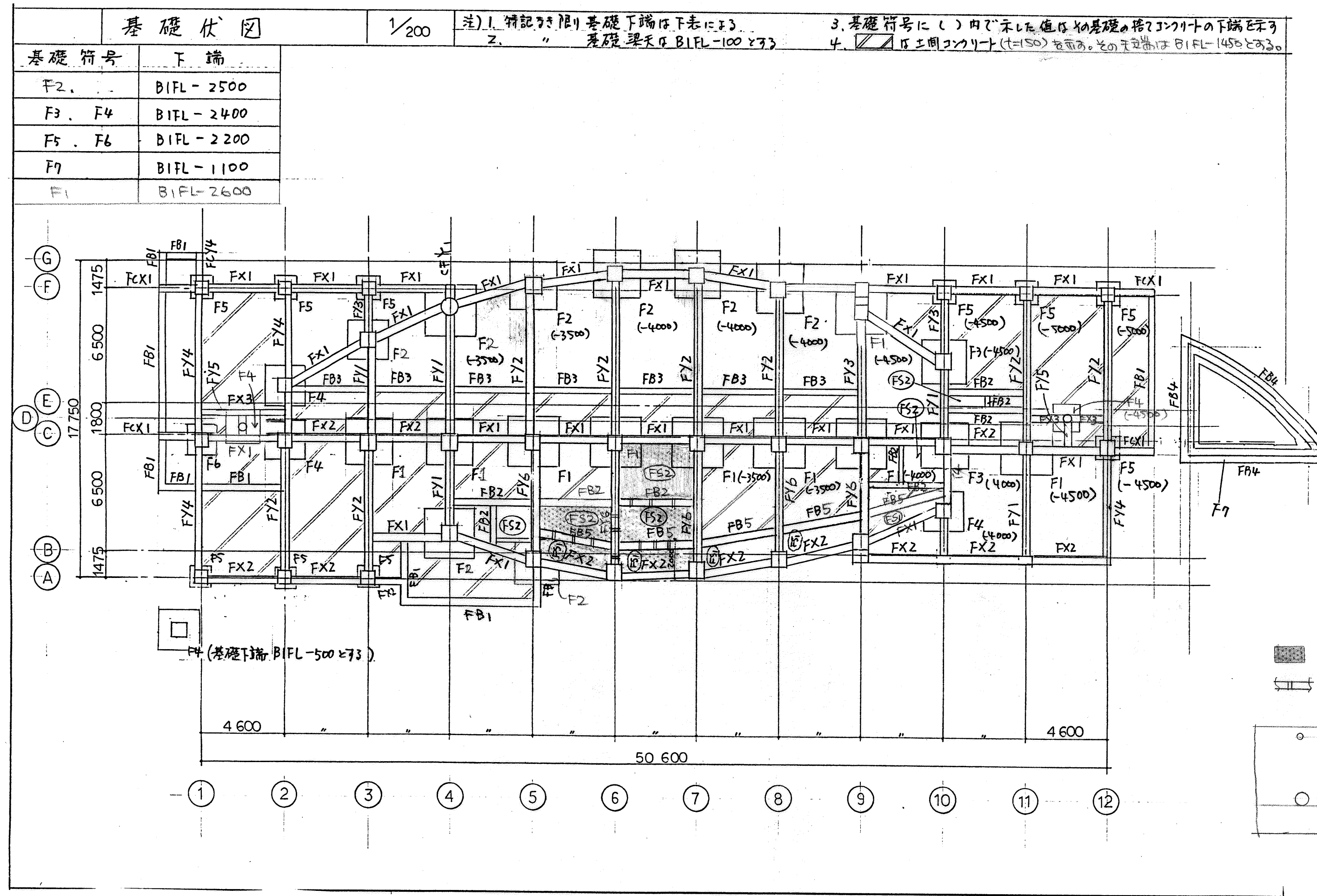
縮尺 1/100

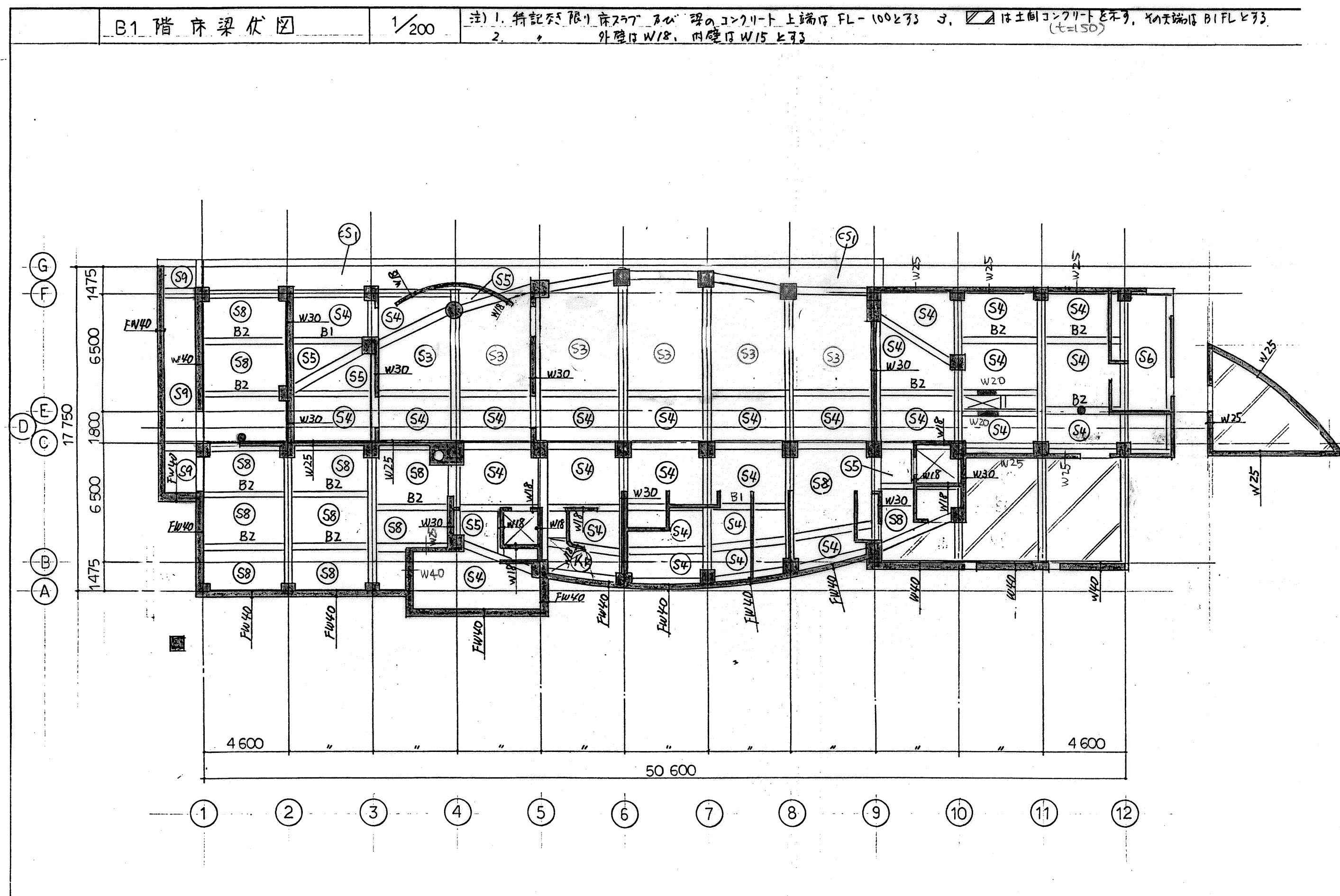
高知市建設課 課長 補佐 係長 係 係

日建・上田設計委託業務共同企業体

NO.

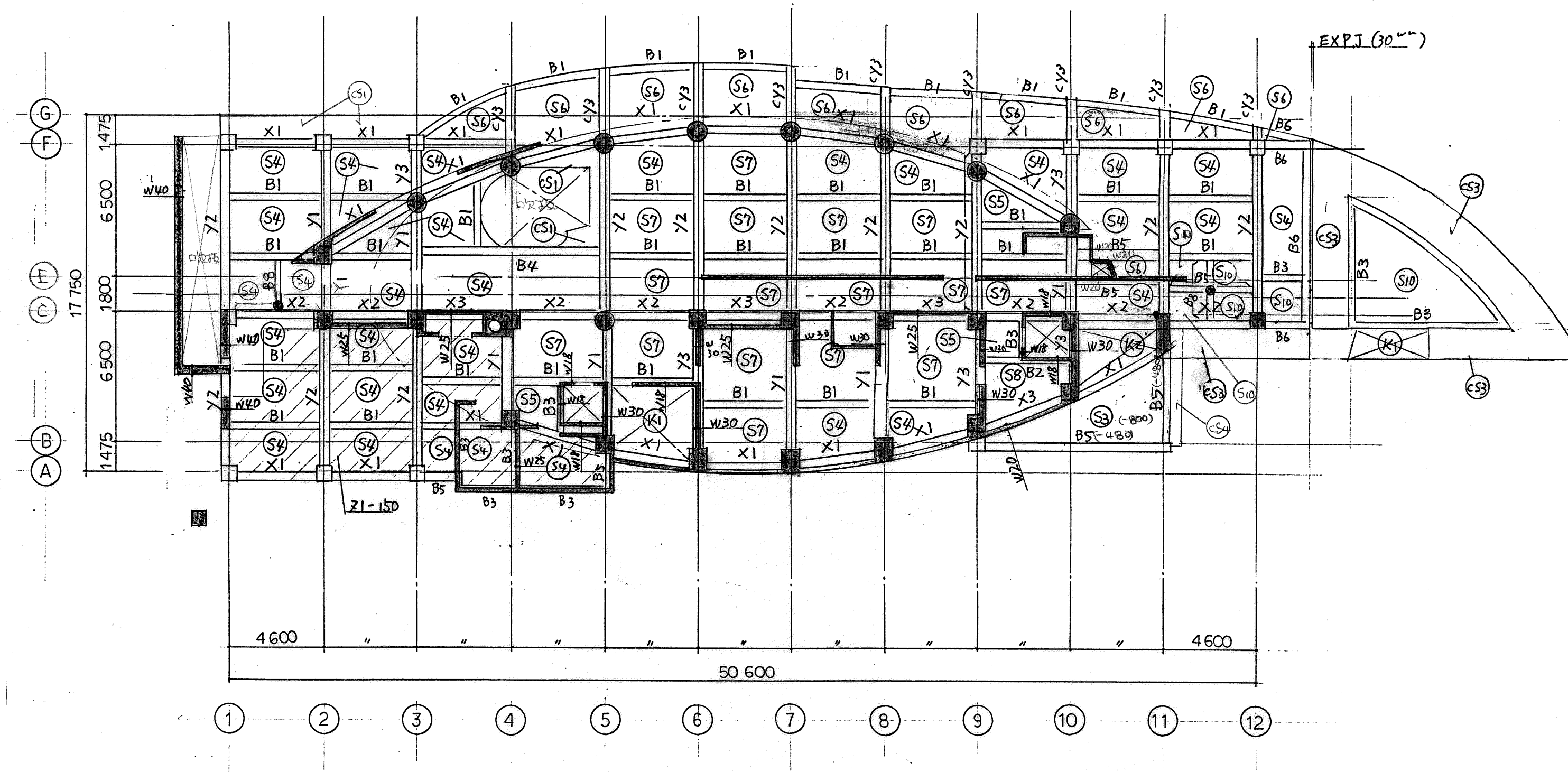
07-



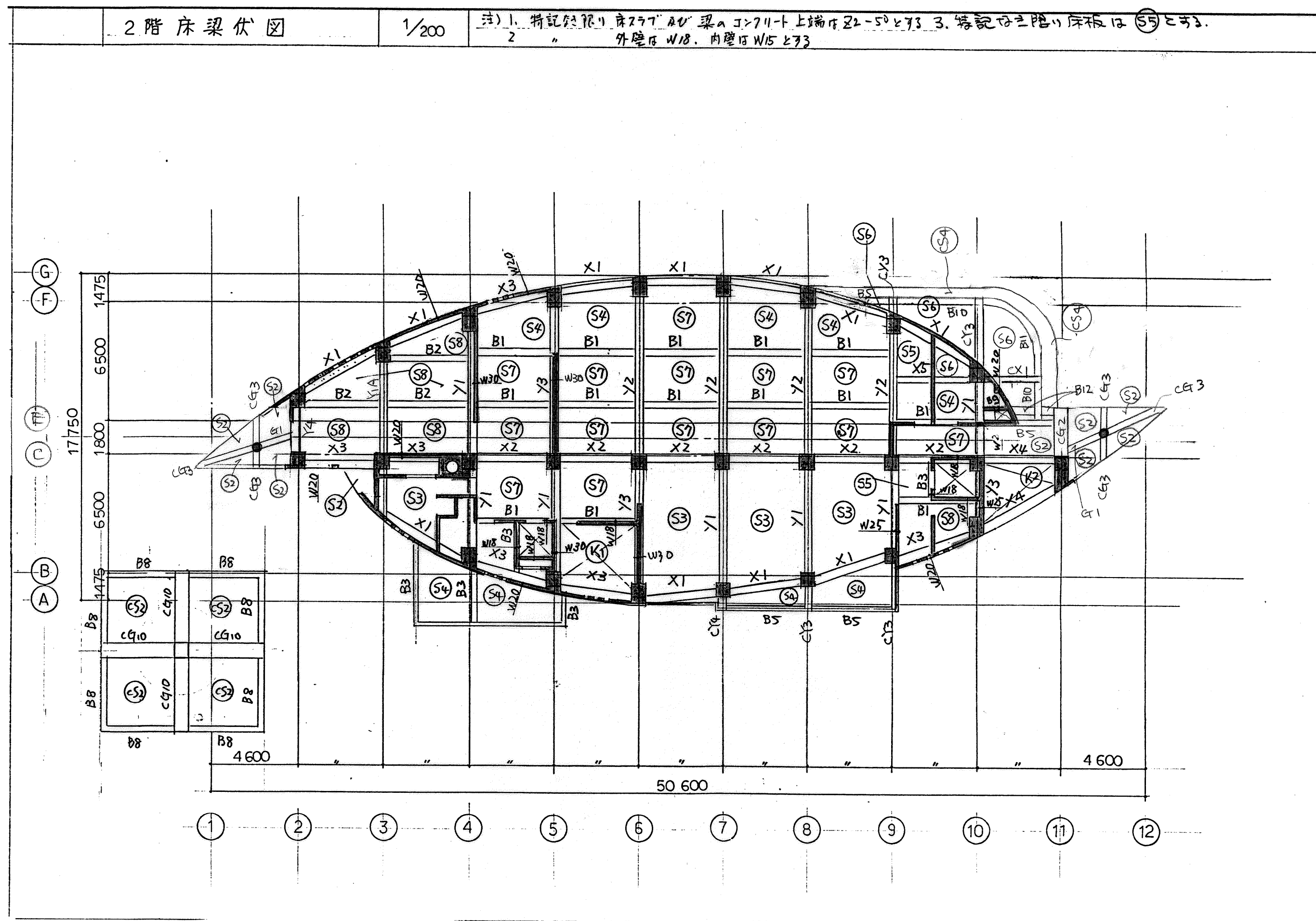


国民宿舎桂浜荘改築工事					B 1 階床梁伏図		縮尺	図番
高知市建設住宅課					日建・上田設計委託業務共同企業体		09	
課長	補佐	係長	係	係	NO. -			

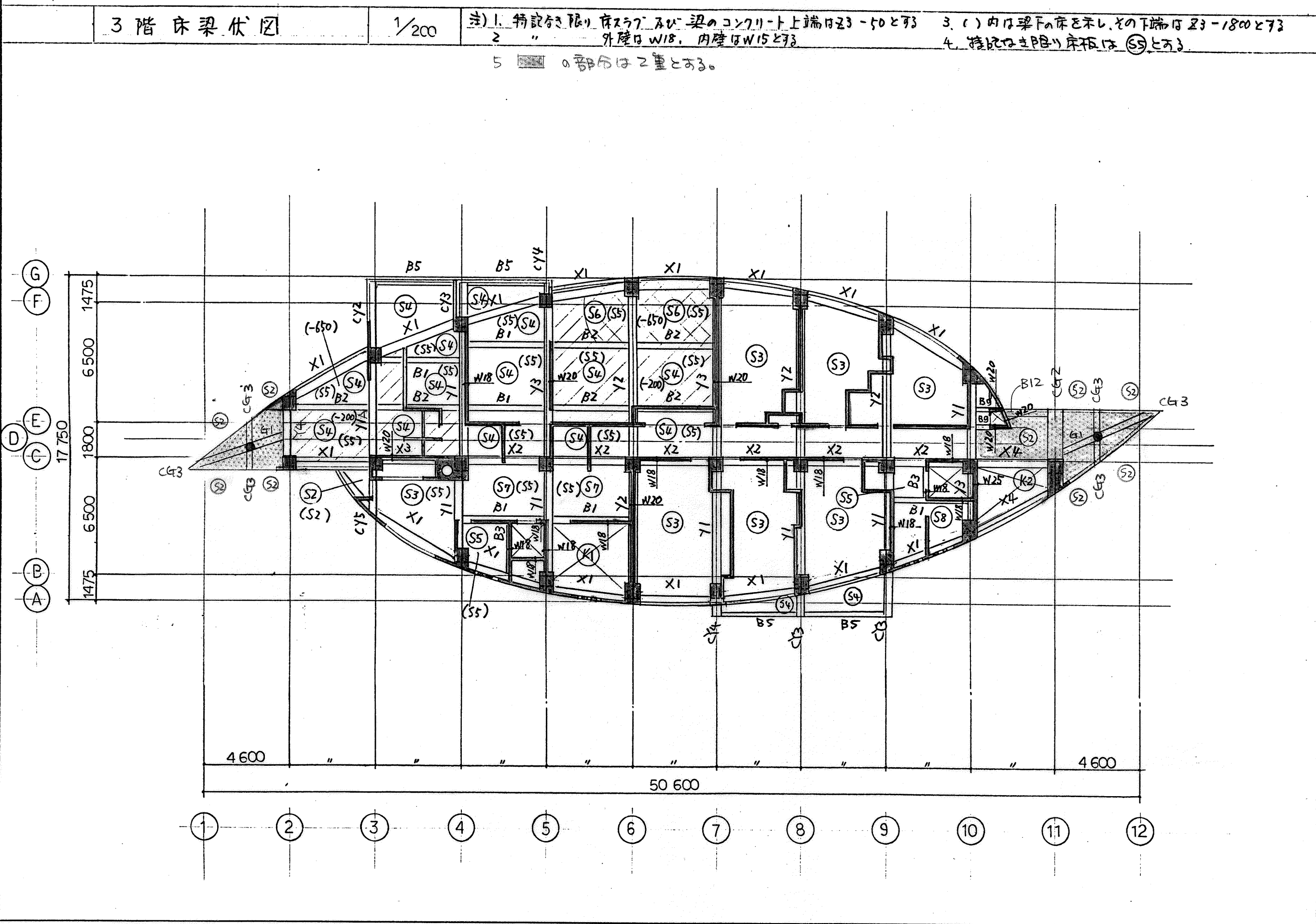
1階床梁伏図	1/200	注) 1. 特記なき限り床スラブ及び梁、コンクリート上掛け Z1-50 と73 2. " 外壁は W18、内壁は W15 と73
--------	-------	---

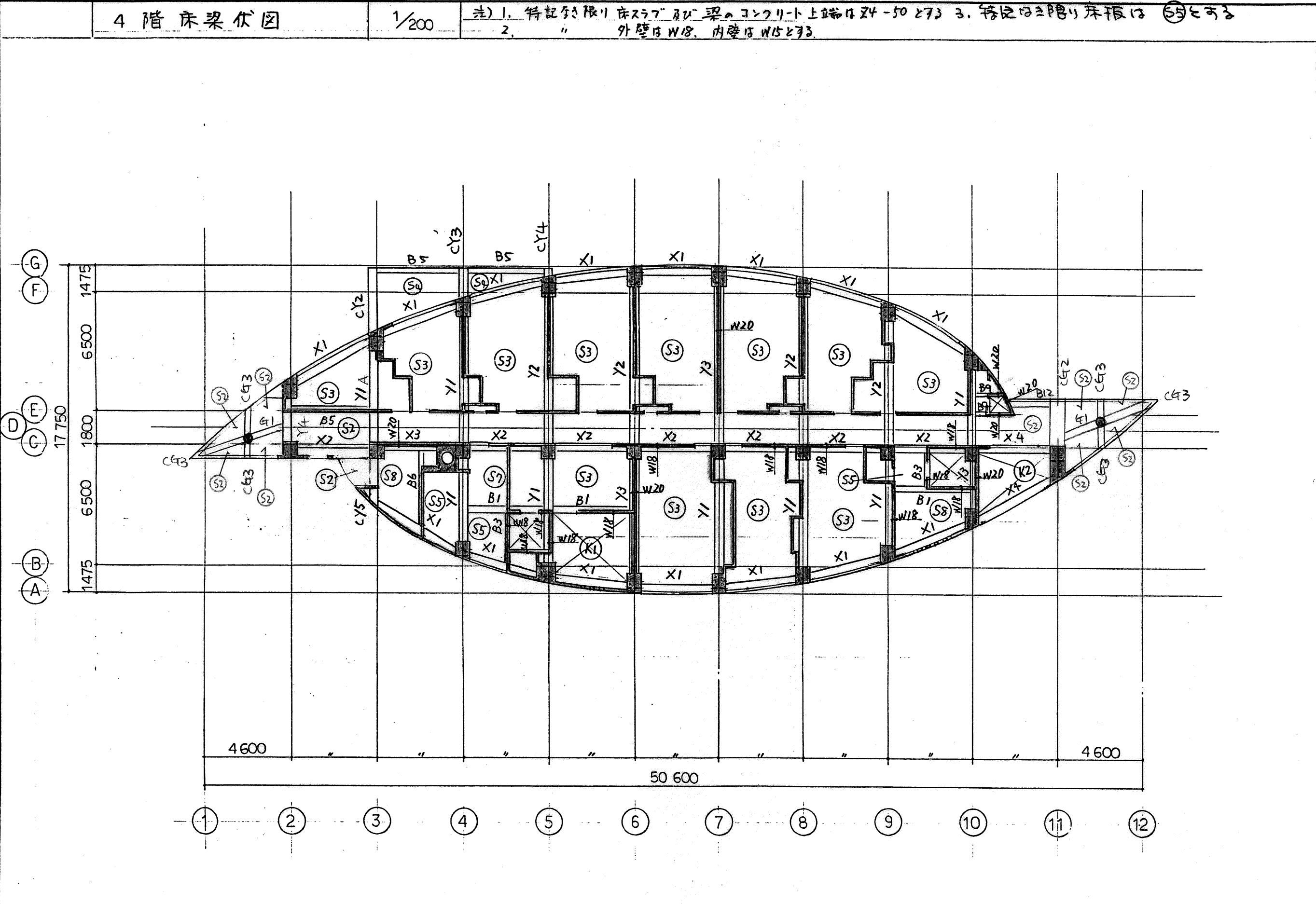


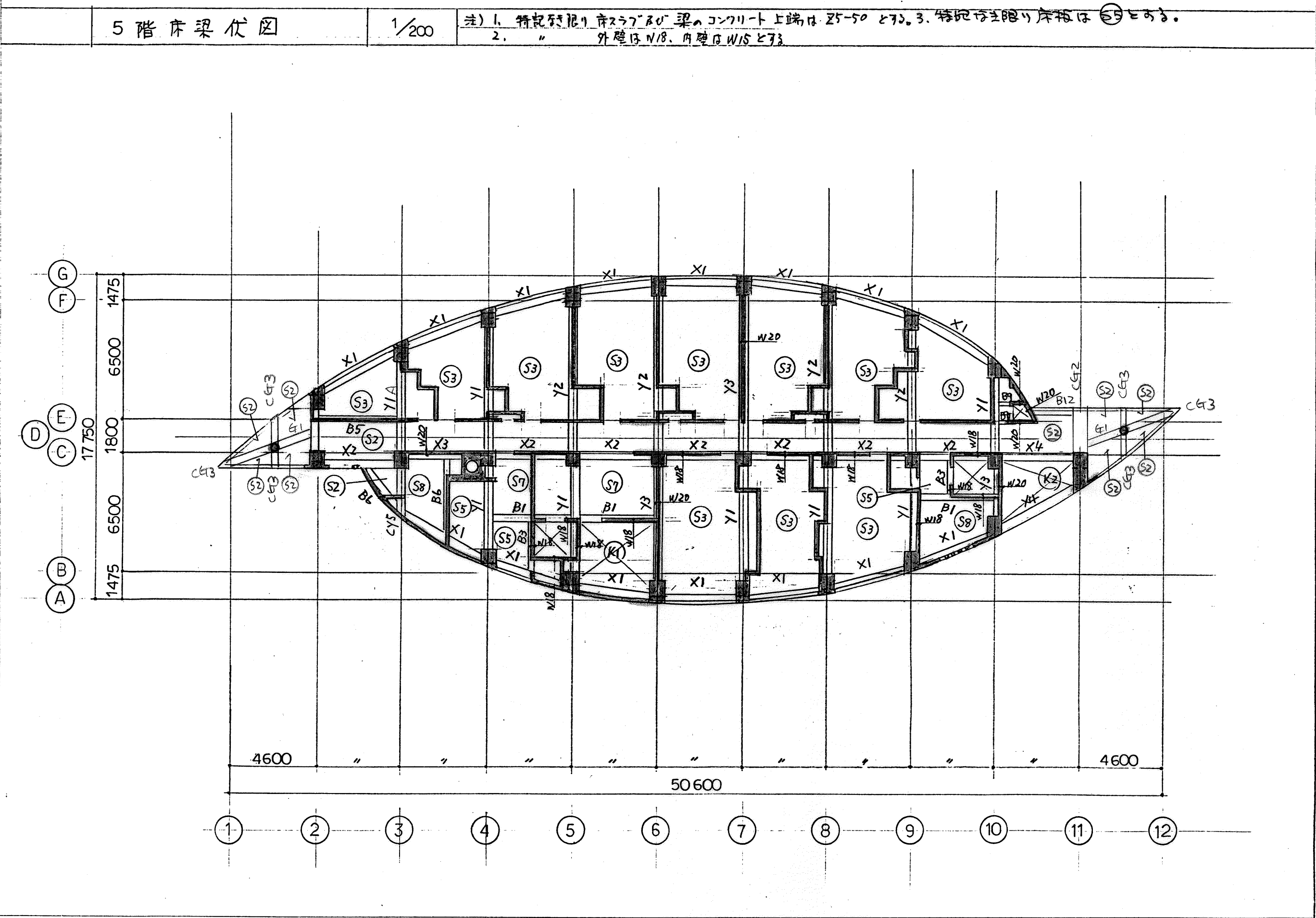
国民宿舎桂浜荘改築工事					1階床梁伏図		縮尺	図番
高知市建	課長	補佐	係長	係	係	日建・上田設計委託業務共同企業体	10-	
築住宅課							NO.	

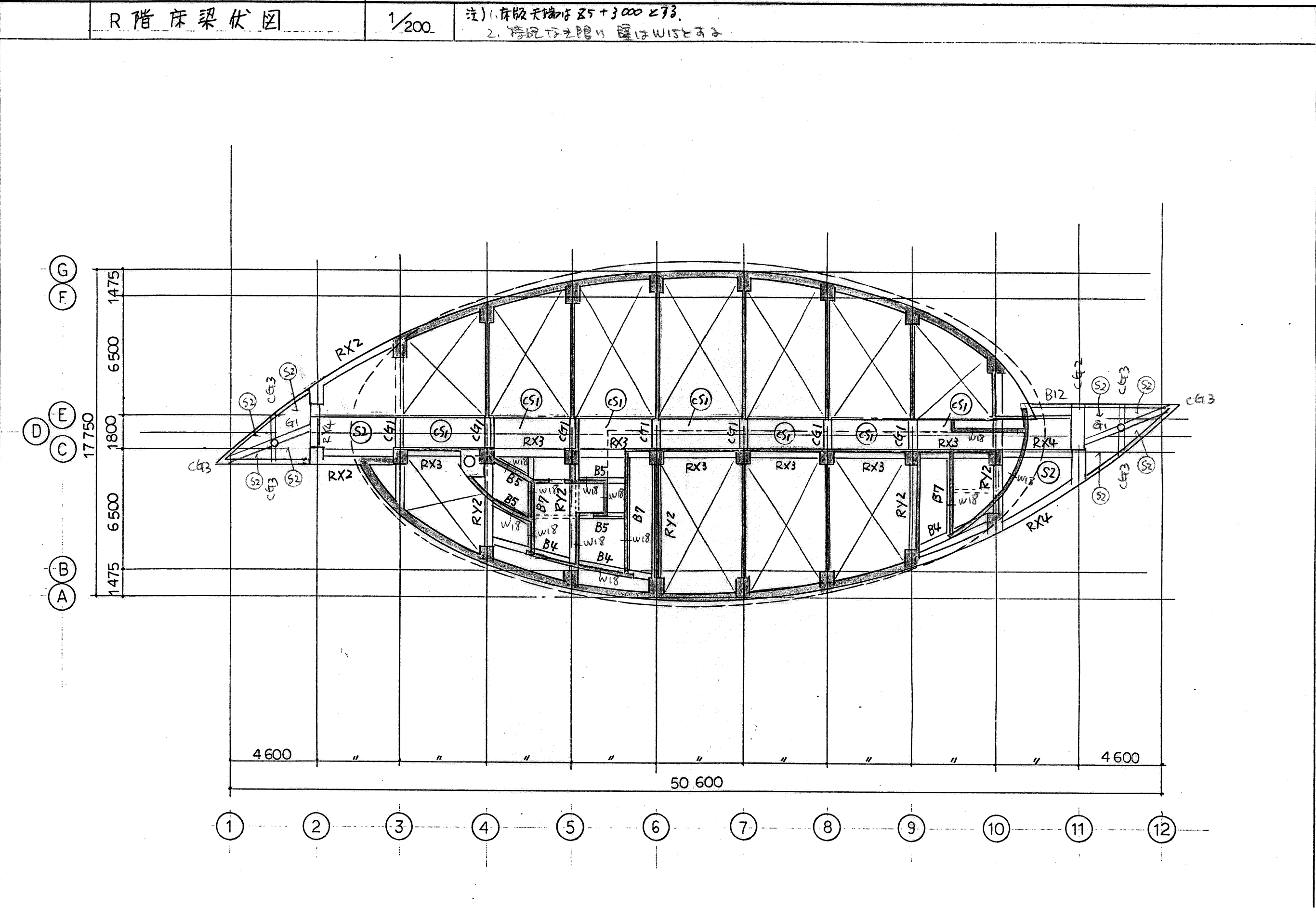


国民宿舎桂浜荘改築工事					2階床梁伏図		縮尺 1/200
高知市建 築住宅課	課長 田中	補佐 佐藤	係長 山本	係 長 佐藤	係 長 佐藤	日建・上田設計委託業務共同企業体	
							NO. 1





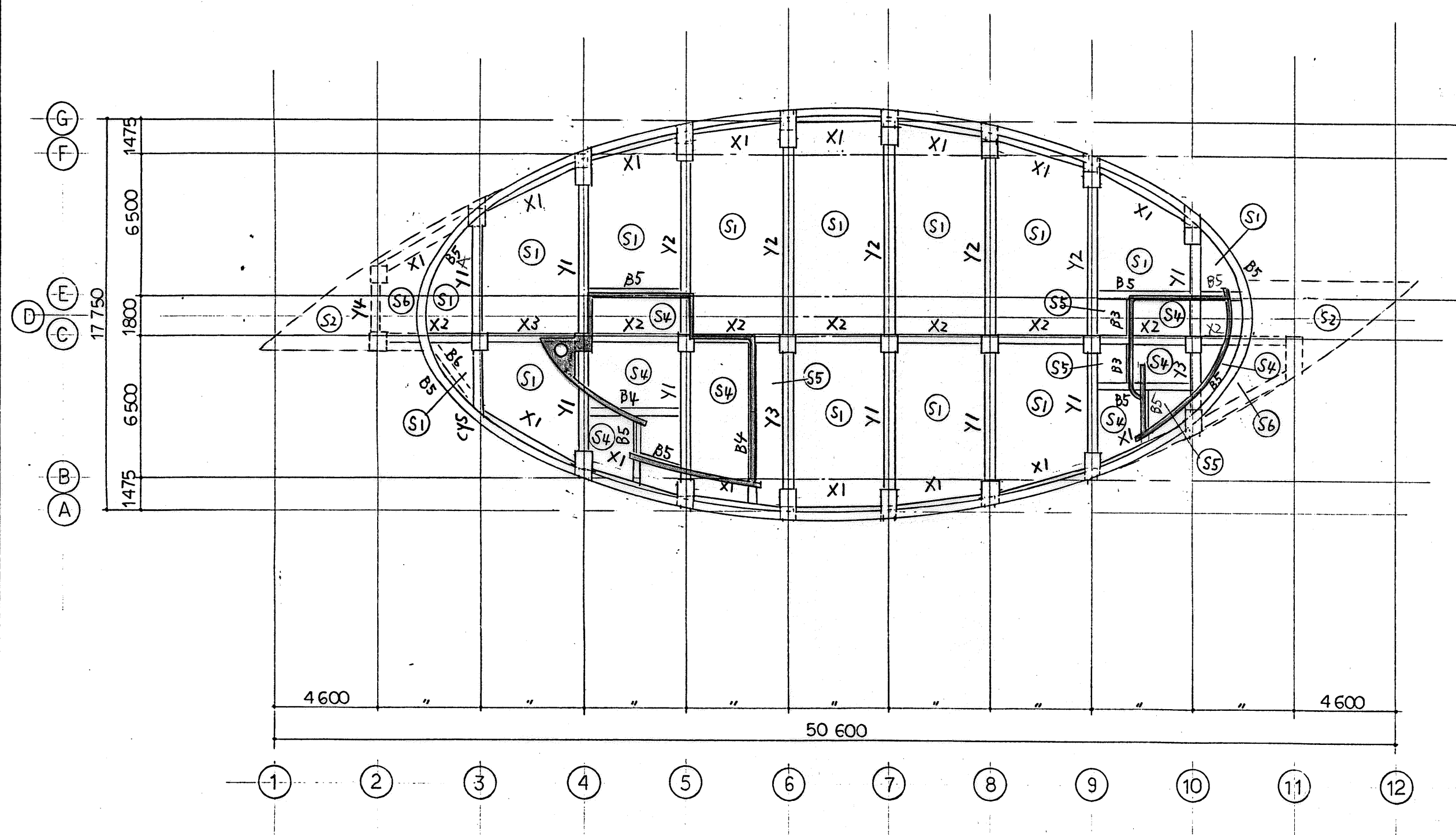




R階床梁伏図

1/200

1. 特定部分の断面は W18 とする。



国民宿舎桂浜荘改築工事

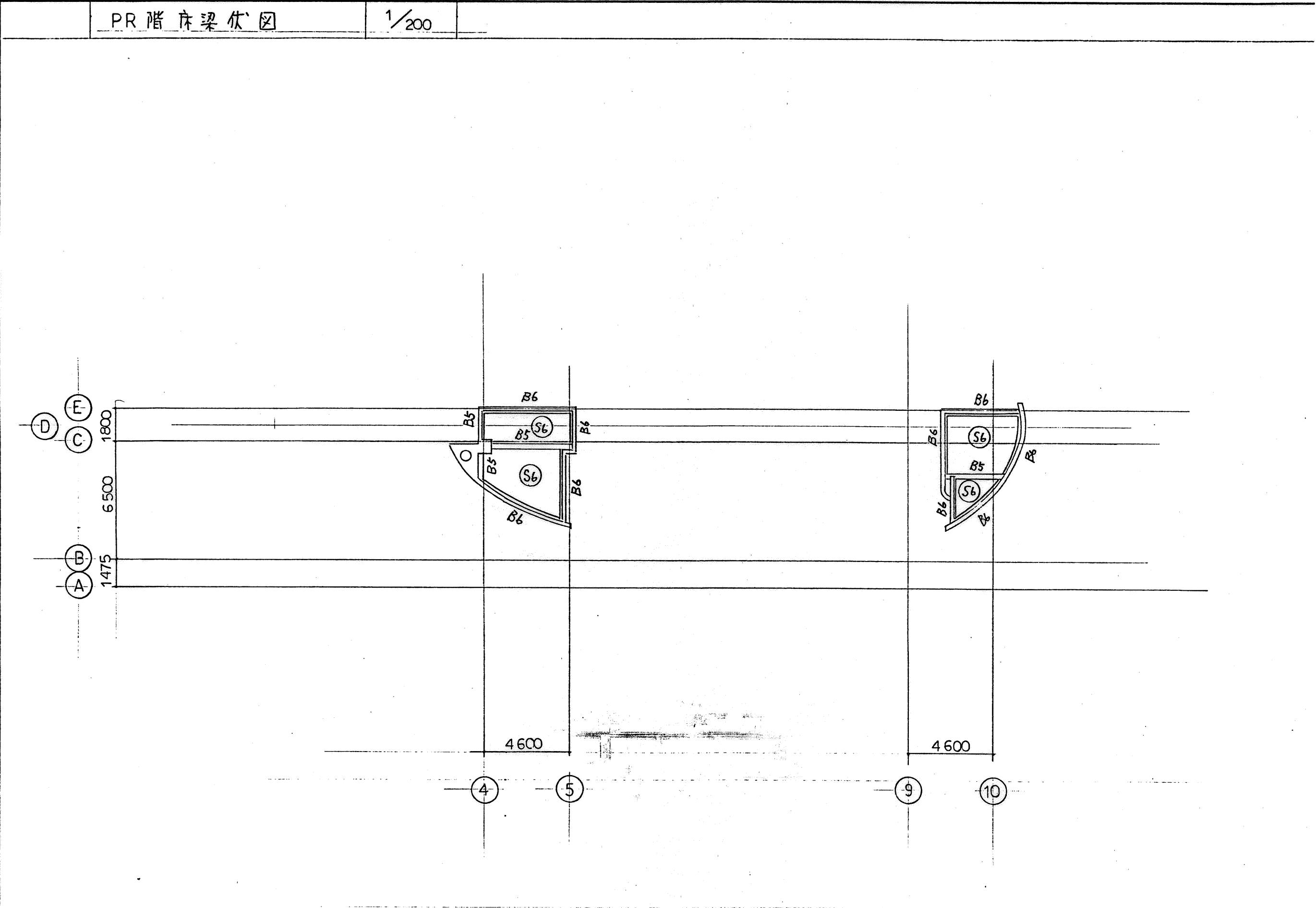
R階床梁伏図 (その2)

縮尺 1/200

高知市建
築住宅課

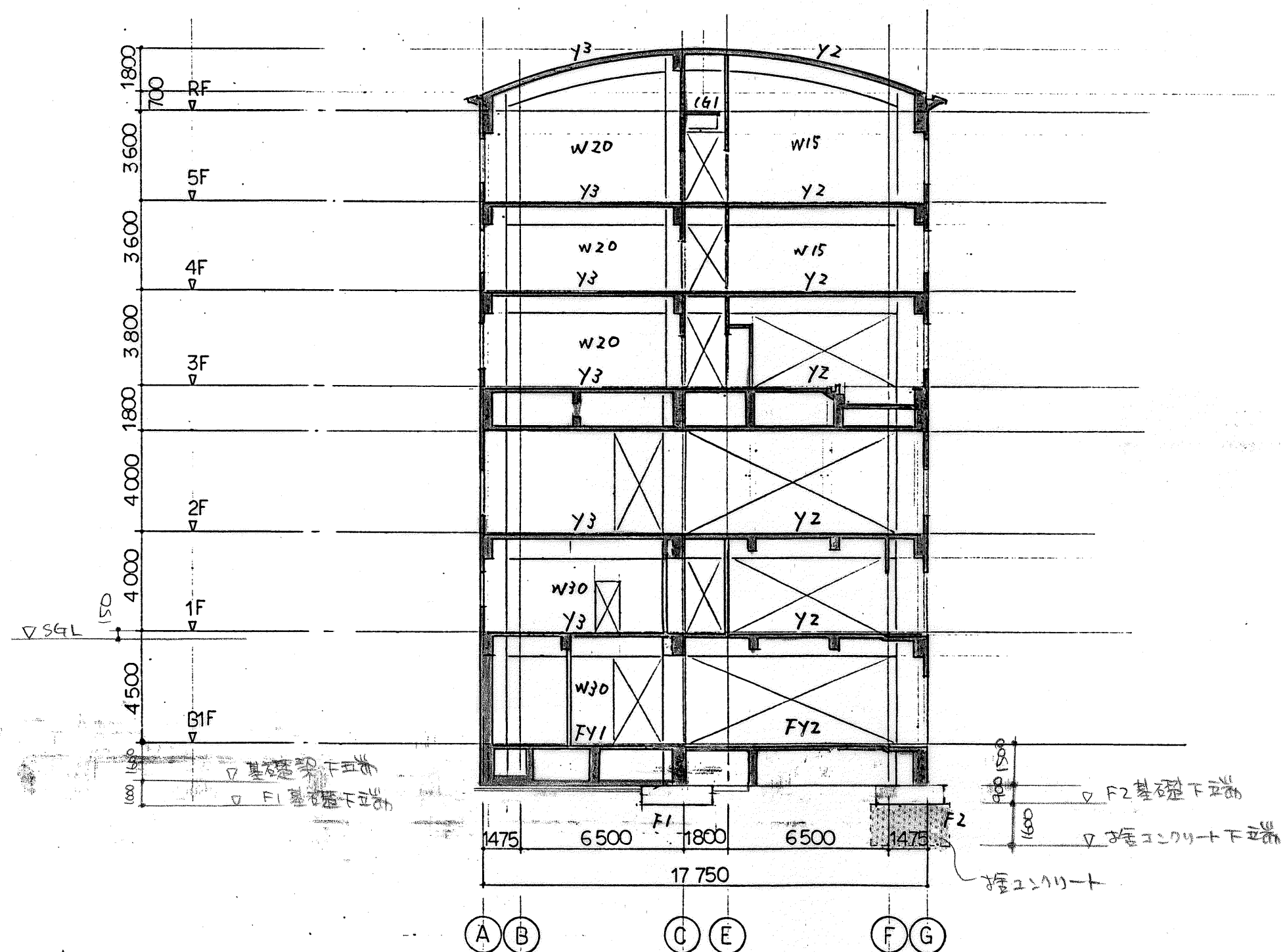
日建・上田設計委託業務共同企業体

NO. -

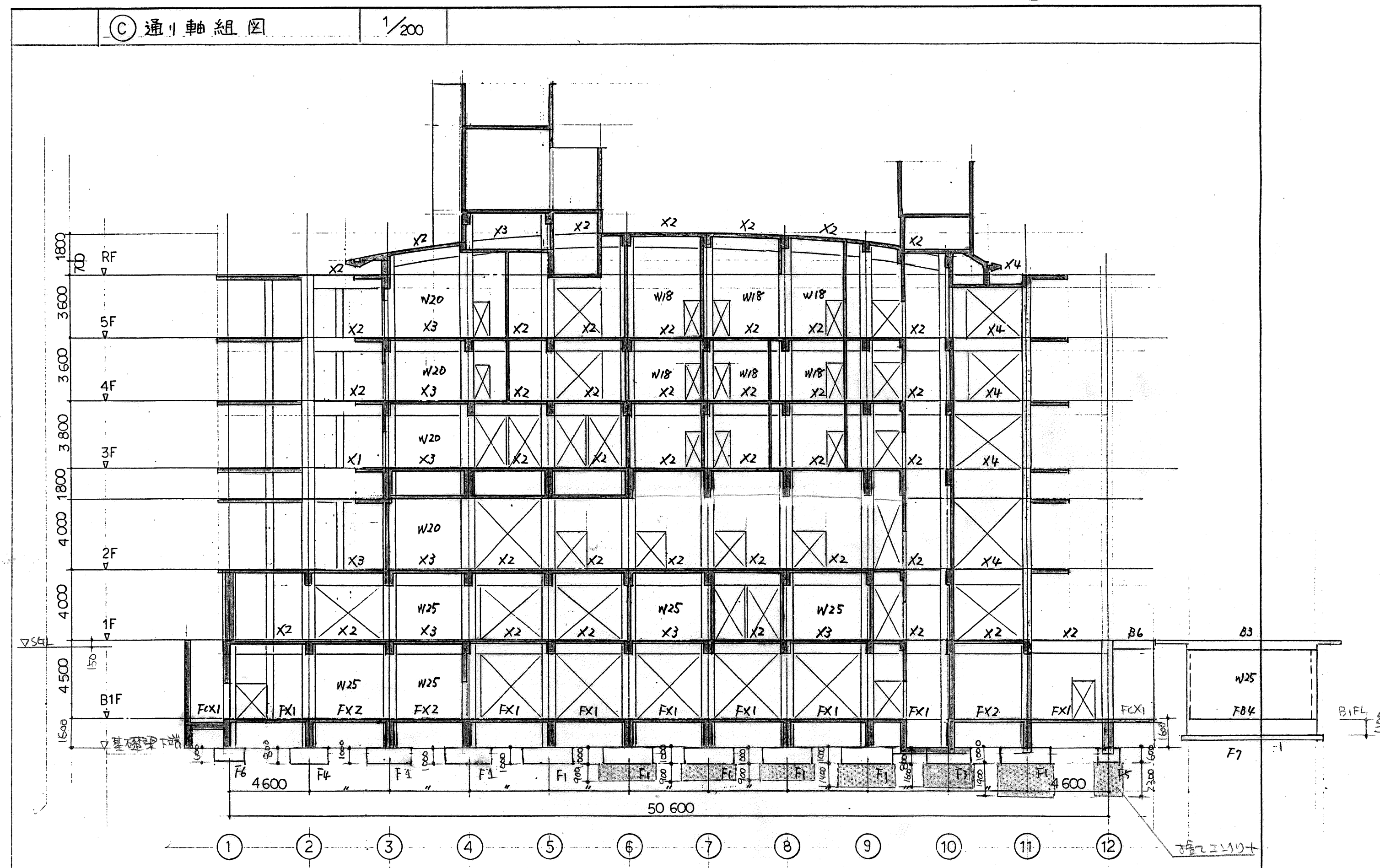


⑥ 通り軸組図

1/200

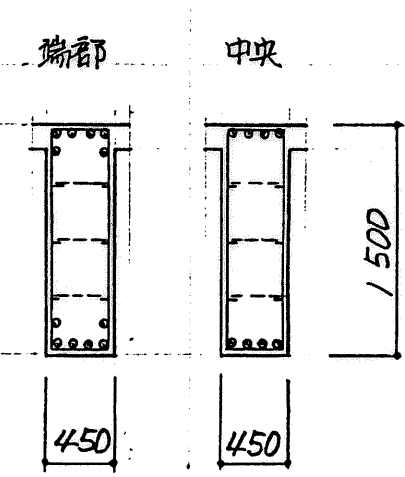
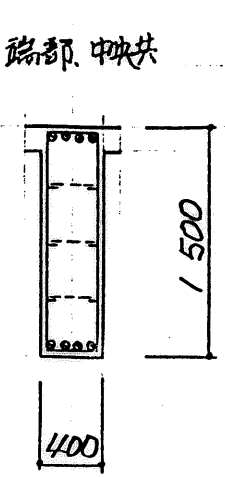
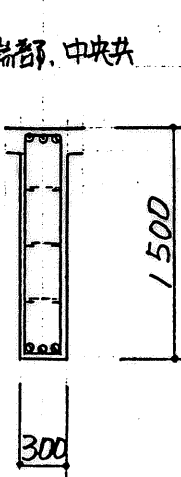
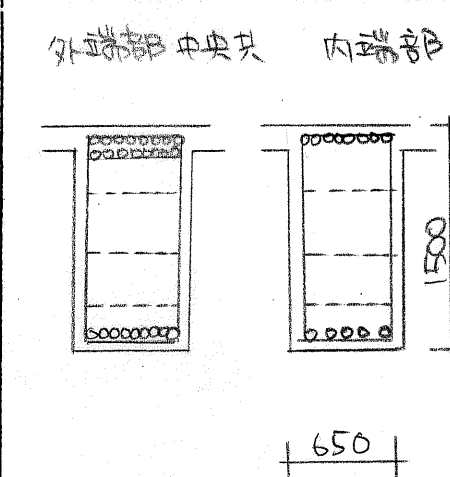
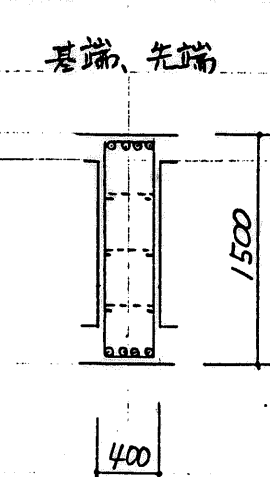
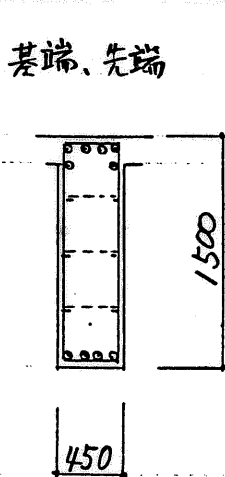
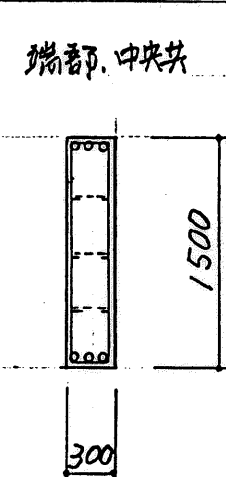
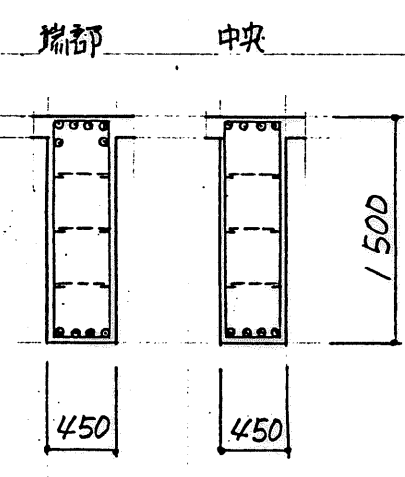
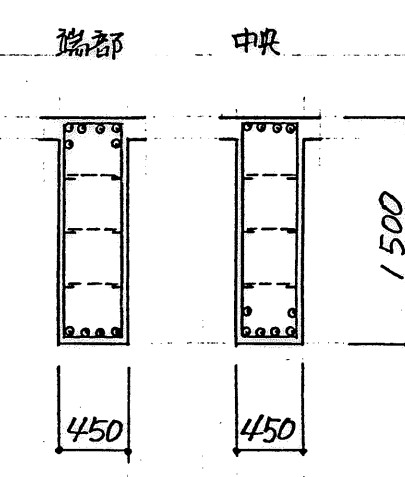
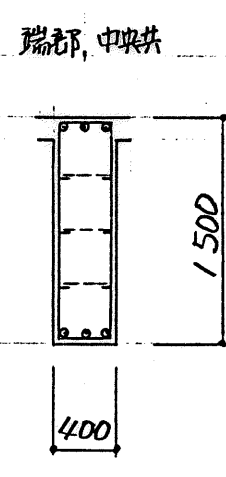
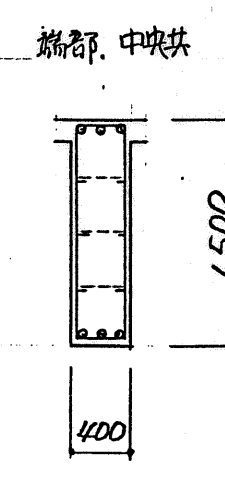
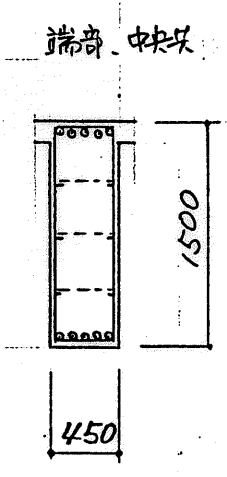
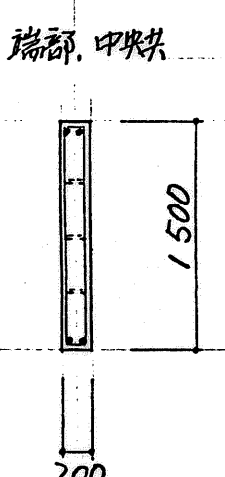
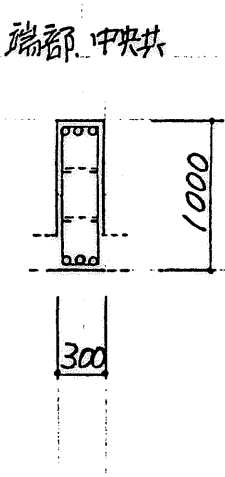
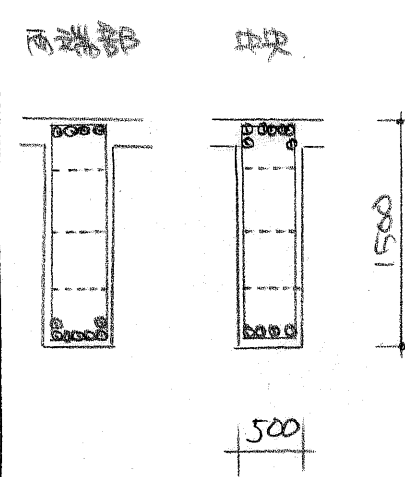


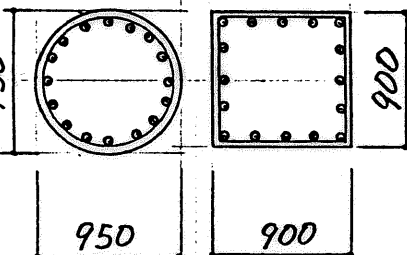
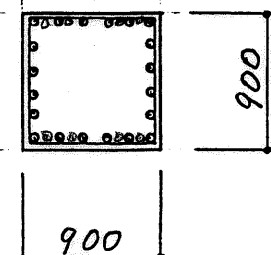
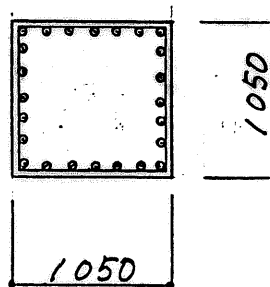
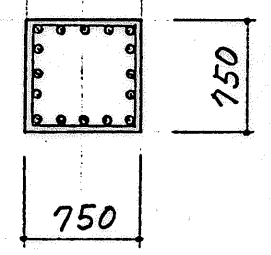
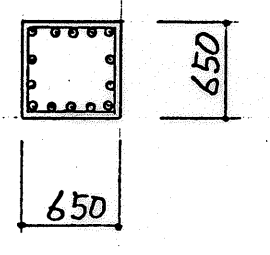
国民宿舎桂浜荘改築工事					6 通り軸組図		縮尺 1/200
高知市建	課長	補佐	係長	係	係	日建：工田設計委託業務共同企業体	NO. 18
築住宅課							

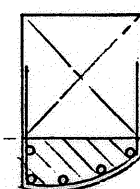
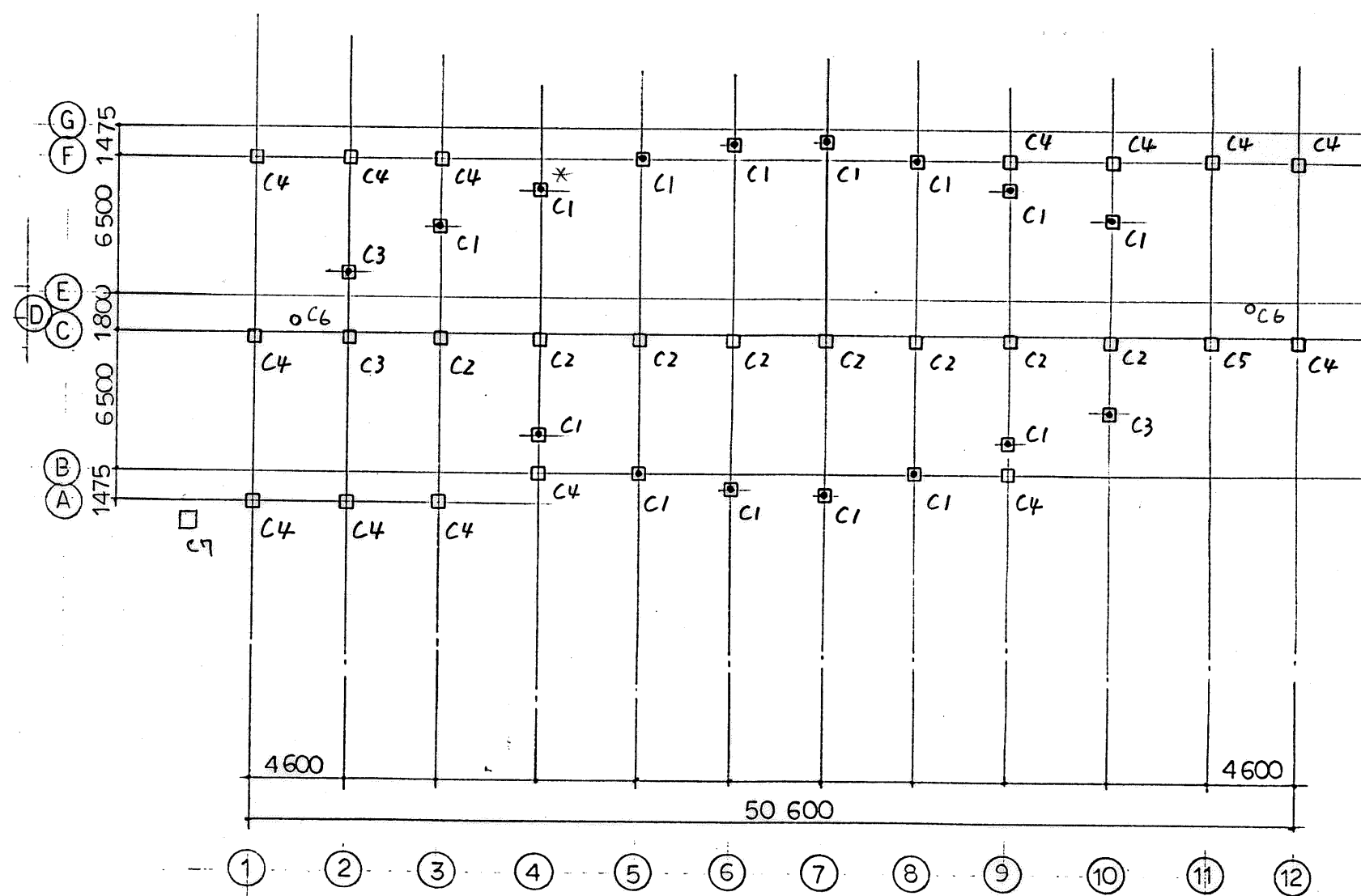


国民宿舎桂浜荘改築工事					C 通り軸組図		縮尺 図番
高知市建 課長 補佐 係長 係 係					日建・上田設計委託業務共同企業体		19-
築住宅課					NO. -		

基礎配筋表									
符号	A	B	C	D		X方向主筋	Y方向主筋	ハカマ筋	備考
F1	3200	3200	1000	1600		17-D22	17-D22	D13@300	
F2	2700	2700	900	1600		15-D22	15-D22	"	
F3	2600	2600	800	1600		14-D22	14-D22	"	
F4	2300	2300	800	1600		17-D19	17-D19	"	
F5	1300	1300	600	1600		7-D16	7-D16	—	
F6	1600	1600	600	1600		11-D16	11-D16	D13@300	
F7	—	800	300	800		D16@200	2-D13	—	布基礎

基礎梁断面表		1/50						
符号	FX1	FX2	FX3		FY6	FB1 , FCB1	FCX1	FB2
F 階	端部 中央 	端部, 中央 	端部, 中央 		外端部 中央 内端部 	基端, 先端 	基端, 先端 	端部, 中央 
	上端筋 6-D25 4-D25	4-D25	3-D25		16-D25 8-D25	4-D25	6-D25	3-D22
	下端筋 6-D25 4-D25	4-D25	3-D25		9-D25 5-D25	4-D25	4-D25	3-D22
	両方筋 2-D13 @200	3-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @100 2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
	補助筋 6-D10	6-D10	6-D10		6-D10	6-D10	6-D10	6-D10
備考					内端は(1)より2.0m範囲内			
符号	FY1	FY2	FY3	FY4 , FCY4	FY5	FB3	FB4	FB5
F 階	端部 中央 	端部 中央 	端部, 中央 	端部, 中央 	端部, 中央 	端部, 中央 	端部, 中央 	端部, 中央 
	上端筋 6-D25 4-D25	6-D25 4-D25	3-D25	3-D25	5-D25	2-D19	3-D22	4-D25 7-D25
	下端筋 4-D25 4-D25	4-D25 6-D25	3-D25	3-D25	5-D25	2-D19	3-D22	7-D25 4-D25
	両方筋 2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @100	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
	補助筋 6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	4-D10	6-D10
備考								

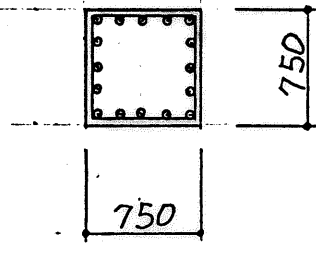
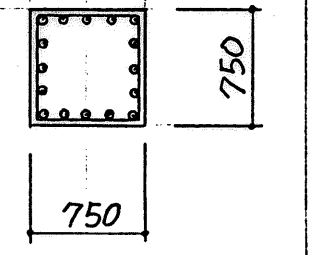
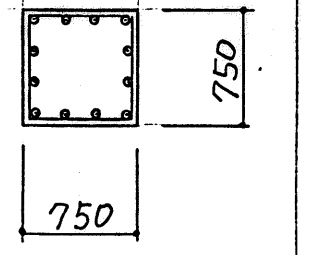
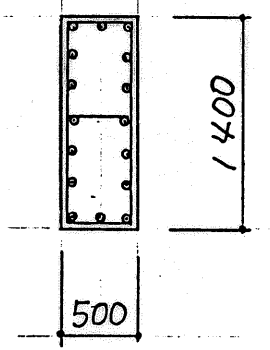
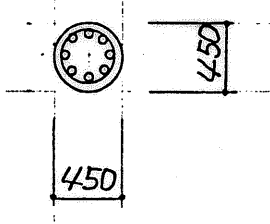
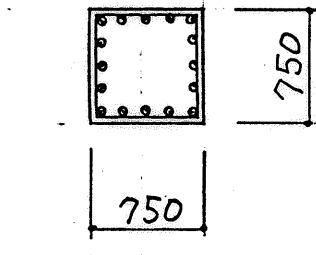
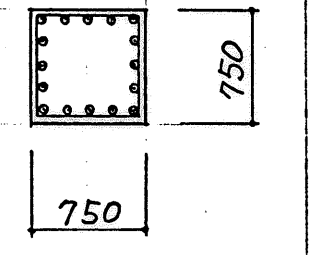
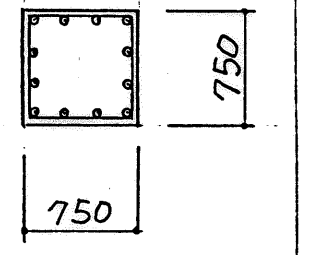
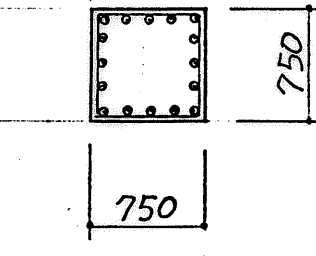
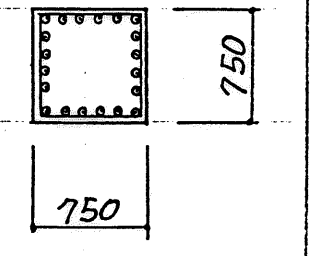
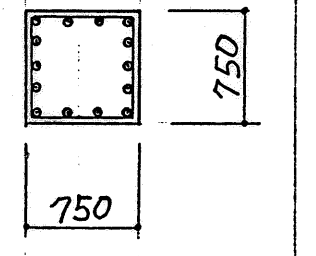
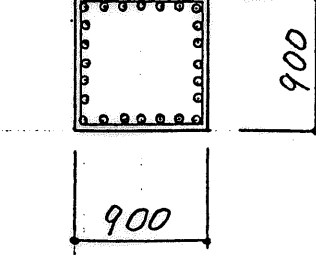
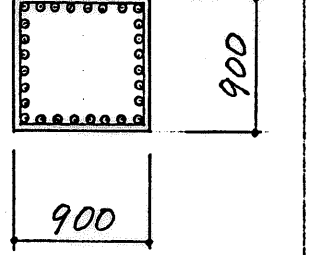
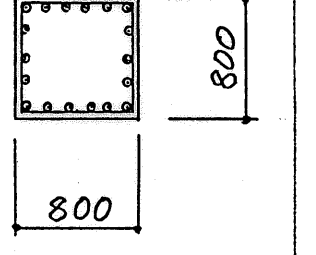
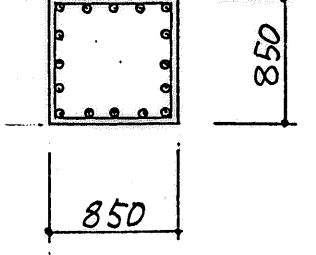
柱断面表 注 C5 以外はスライシブ・フ・フとある								
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	
1 階			2C3に同じ		5C5に同じ	5C6に同じ	1階柱脚 	
主筋	16-D25	28-D25					24-D25	
帯筋	D13 @100	D13 @100					D13 @100	
備考								
B1 階	1C1に同じ *印のC1柱のB1階 には鉄筋(H-200X200X 8X12)が下部に入る その詳細は構-30 図を参照のこと	1C2に同じ	2C3に同じ			5C6に同じ		
主筋				16-D25	14-D25			
帯筋				D13 @100	D13 @100			
備考								
柱符号図		1/300						



C1, C3の外周の壁に接する柱は左図に示すように増打し補強を行うこと。(右図で印の柱)

主筋 5-D22
型 D13 @100

国民宿舎桂浜荘改築工事					柱断面表(その1)		縮尺	図番
							22	
高知市建	課長	補佐	係長	係	日建・上田設計委託業務共同企業体			
築住宅課	梶田	田中	田中	田中	NO. -			

柱断面表		1/50	C5 以外の 筋筋は 210×150 7-7 とする。					
符号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	
5 階								
主筋	16-D25	16-D25	12-D25		16-D25	8-D22		
帯筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100		D13 @100	D13 @100		
備考								
4 階					5C5に、同じ	5C6に、同じ		
主筋	16-D25	16-D25	12-D25					
帯筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100					
備考								
3 階					5C5に、同じ	5C6に、同じ		
主筋	16-D25	20-D25	14-D25					
帯筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100					
備考								
2 階					5C5に、同じ	5C6に、同じ	1階柱頭 	
主筋	24-D25	28-D25	18-D25				16-D25	
帯筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100				D13 @100	
備考								

国民宿舎桂浜荘改築工事

柱断面表 (その2)

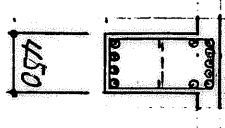
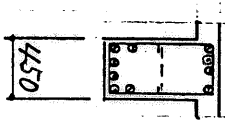
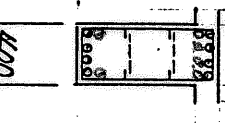
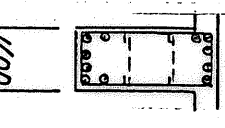
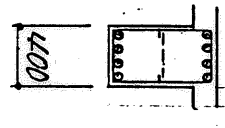
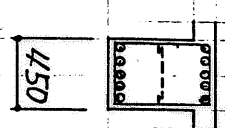
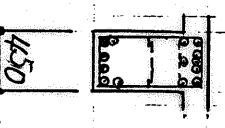
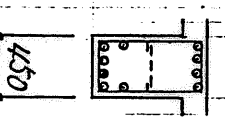
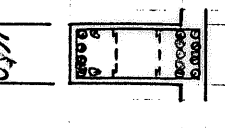
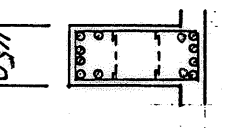
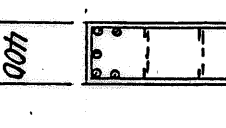
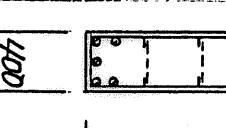
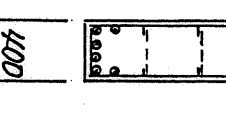
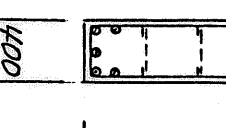
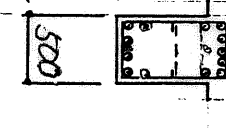
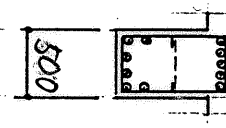
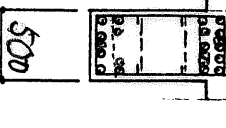
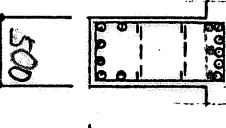
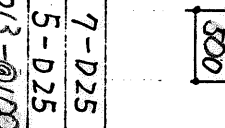
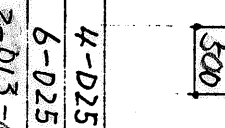
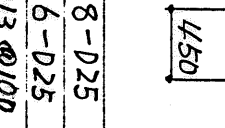
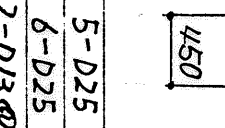
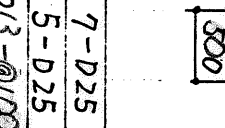
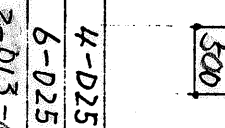
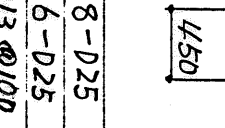
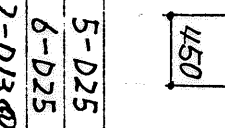
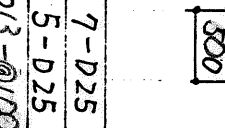
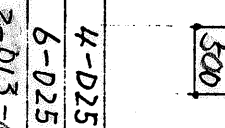
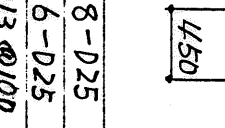
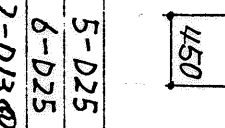
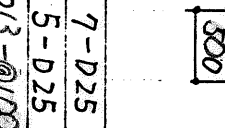
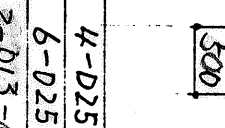
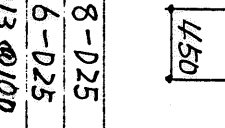
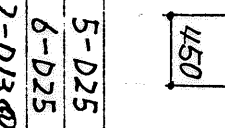
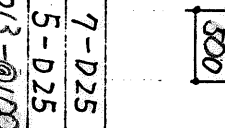
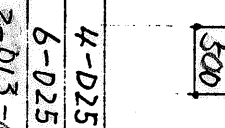
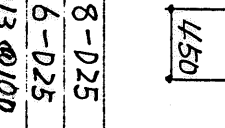
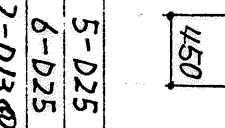
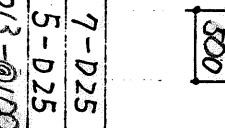
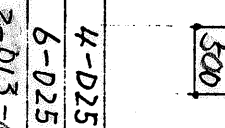
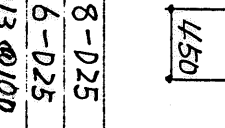
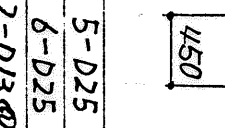
縮尺 1/50
図番 23-

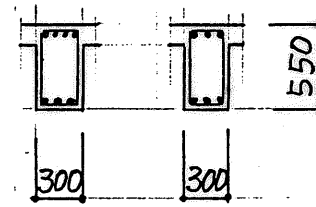
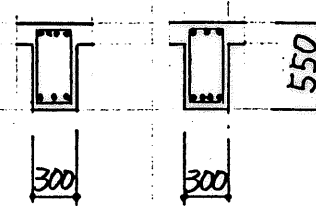
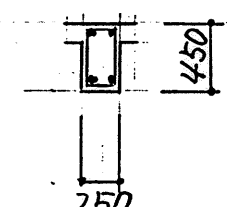
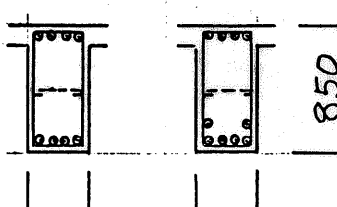
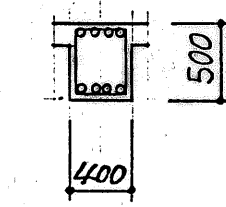
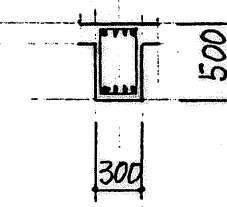
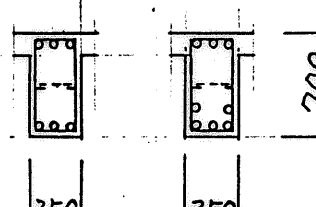
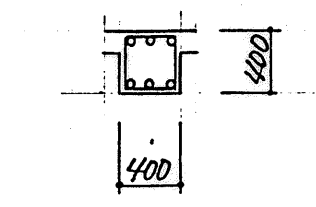
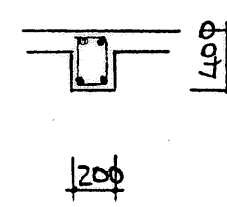
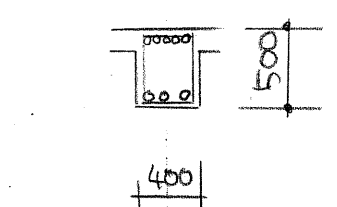
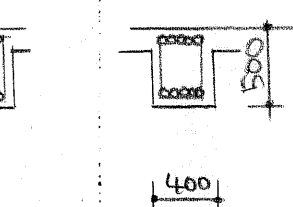
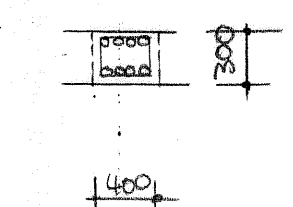
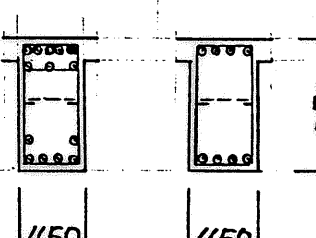
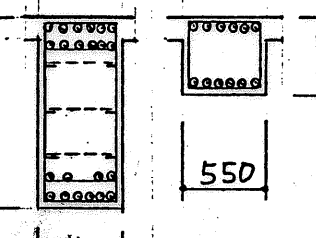
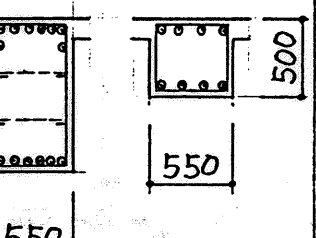
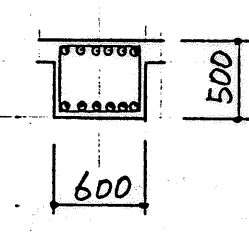
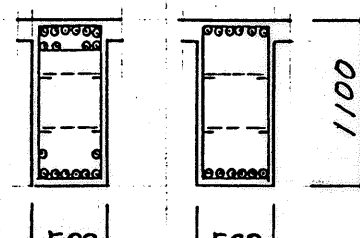
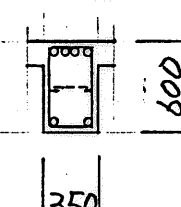
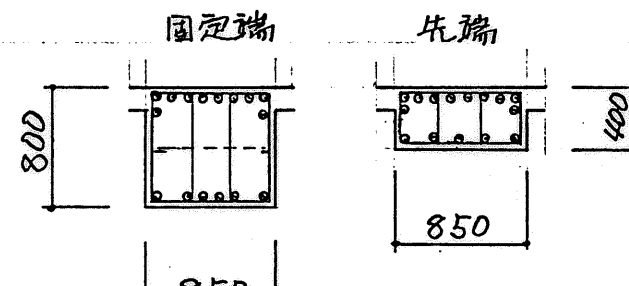
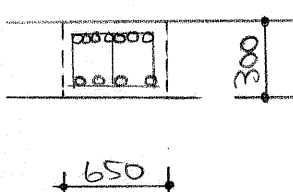
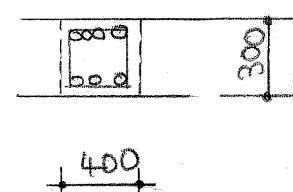
高知市建設住宅課
課長 補佐 係長 係 係

日建・上田設計委託業務共同企業体

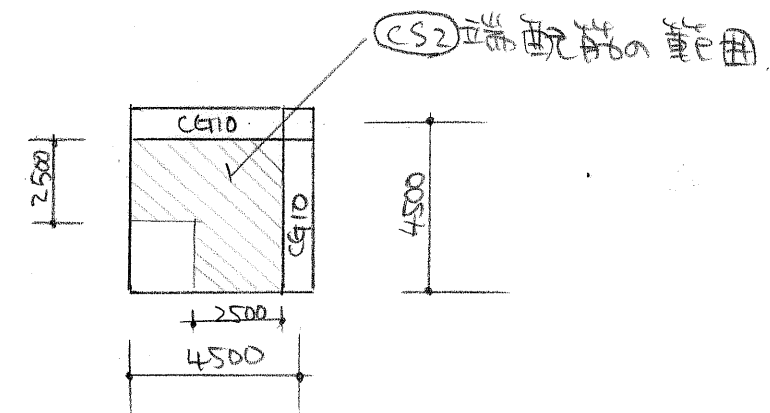
NO. -

大梁断面表		1/50			
符号	X1	X2	X3	X4	X5
R 階	端部 中央鉄 	端部 中央 	端部 中央鉄 	端部 中央鉄 	
上端筋 下端筋 補筋	5-D25 3-D25 2-D13@200 4-D10	6-D25 4-D25 2-D13@100 2-D13@200 2-D10	4-D25 4-D25 2-D13@200 2-D10	5-D25 5-D25 2-D13@200 4-D10	
5 階	端部 中央 	端部 中央 	RX3に同じ	端部 中央鉄 	
上端筋 下端筋 補筋	6-D25 4-D25 2-D13@100 2-D10	6-D25 4-D25 2-D13@100 2-D13@200 2-D10		5-D25 5-D25 2-D13@200 4-D10	
4 階	端部 中央 	端部 中央 	RX3に同じ	5X4に同じ	
上端筋 下端筋 補筋	5-D25 4-D25 2-D13@100 2-D10	5-D25 4-D25 2-D13@100 2-D13@200 2-D10			
3 階	端部 中央 	端部 中央 	RX3に同じ	5X4に同じ	
上端筋 下端筋 補筋	6-D25 6-D25 4-D13@100 6-D10	6-D25 4-D25 4-D13@100 2-D13@200 6-D10			
2 階	端部 中央 	端部 中央 	RX3に同じ	端部 中央鉄 	③通端
上端筋 下端筋 補筋	5-D25 4-D25 2-D13@100 4-D10	6-D25 4-D25 2-D13@100 2-D13@200 4-D10		6-D25 5-D25 2-D13@200 4-D10	8-D25 7-D25 2-D13@150 2-D13@200 4-D10
1 階	端部 中央 	端部 中央 	RX3に同じ		
上端筋 下端筋 補筋	5-D25 4-D25 2-D13@100 2-D10	6-D25 4-D25 2-D13@100 2-D13@200 2-D10			

大梁断面表					
符号	Y1, Y1A (CY1)	Y2	Y3	Y4	
1階	端部  中央  750	端部  中央  900	端部, 中央  700	端部, 中央  700	
	上端筋 (8) 7-D25 下端筋 (6) 4-D25 2-D13-φ100 2-D10	8-D25 6-D25 2-D13-φ200 4-D10	4-D25 4-D25 2-D13-φ200 2-D10	5-D25 5-D25 2-D13-φ150 2-D10	
	備考 RY1, RY1Aの端部断面に同じ				
	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	10-D25 7-D25 2-D13-φ150 4-D10			
2階	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	8-D25 6-D25 2-D13-φ150 4-D10			
	備考 RY1, RY1Aの端部断面に同じ				
	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	12-D25 9-D25 2-D13-φ100 4-D10			
3階	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	8-D25 6-D25 2-D13-φ150 4-D10			
	備考 RY1, RY1Aの端部断面に同じ				
	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	8-D25 6-D25 2-D13-φ150 4-D10			
4階	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	8-D25 6-D25 2-D13-φ150 4-D10			
	備考 RY1, RY1Aの端部断面に同じ				
	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	8-D25 6-D25 2-D13-φ150 4-D10			
5階	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	10-D25 7-D25 2-D13-φ150 4-D10			
	備考 RY1, RY1Aの端部断面に同じ				
	端部  中央  750	端部  中央  900	RY3に同じ	RY4に同じ	
	上端筋 8-D25 下端筋 6-D25 2-D13-φ100 2-D10	10-D25 7-D25 2-D13-φ150 4-D10			

小梁断面表		1/50								
符号	B1	B2	B3	B4	B5	B6				
断面	端部 中央 	端部 中央 	端部, 中央共 	端部 中央 	端部, 中央共 	端部, 中央共 				
上端筋	4-D19 3-D19	4-D19 3-D19	2-D19	4-D25 4-D25	4-D22	4-D19				
下端筋	3-D19 3-D19	3-D19 4-D19	2-D19	4-D25 6-D25	4-D22	4-D19				
あはし筋	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D10 @200				
補助筋				2-D10						
備考										
符号	B7	B8	B9	B10	B11	B12				
断面	端部 中央 	端部, 中央共 	端部, 中央共 	端部, 中央共 	両端部 中央 	端部, 中央共 				
上端筋	3-D22 3-D22	3-D22	2-D19	5-D22	5-D22 5-D22	4-D22				
下端筋	3-D22 5-D22	3-D22	2-D19	3-D22	3-D22 5-D22	4-D22				
あはし筋	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @150				
補助筋	2-D10									
備考										
符号	CY1	CY2	CY3, CX1	CY4	CY5					
断面	基端 先端 	基端 先端 	基端 先端 	端部, 中央共 	基端 先端 					
上端筋	8-D25 4-D25	12-D25 6-D25	8-D25 4-D25	6-D25	10-D25 6-D25					
下端筋	6-D25 4-D25	10-D25 6-D25	6-D25 4-D25	6-D25	8-D25 6-D25					
あはし筋	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @100	2-D13 @200					
補助筋	2-D10	6-D10	4-D10		4-D10					
備考										
符号	CG1		CG10		CG2	CG, CG3				
断面	固定端, 先端共 		固定端 先端 							
上端筋	4-D22		10-D25 10-D25		7-D22	4-D22				
下端筋	2-D22		6-D25 5-D25		4-D22	3-D22				
あはし筋	2-D10 @200		4-D13 @200		3-D10 @150	2-D10 @150				
補助筋	2-D10		2-D10							
備考										

床版配筋表													
床	スラブ厚			範囲	短辺方向配筋 (主筋)				長辺方向配筋 (配力筋)				備考
	端部	中央	ハナ長		端部		中央		端部		中央		
(S1)	180	180		A.B	上下	D13 @150 D13 @150	D13 @150 D13 @150	D10, D13 交互 @200 D10, D13 交互 @200	D10, D13 交互 @200 D10, D13 交互 @200				
(S2)	300	300		A.B	上下	D13 @150 D13 @150	D13 @150 D13 @150	D13 @150 D13 @150	D13 @150 D13 @150				
(S3)	180	180		A.B	上下	D13 @100 D13 @100	D13 @100 D13 @100	D10, D13 交互 @200 D10, D13 交互 @200	D10, D13 交互 @200 D10, D13 交互 @200				
(S4)	150	150		A.B	上下	D10, D13 交互 @200 D10, D13 交互 @200	D10, D13 交互 @200 D10, D13 交互 @200	D10 @200 D10 @200	D10 @200 D10 @200				
(S5)	150	150		A.B	上下	D10 @200 D10 @200	D10 @200 D10 @200	D10 @200 D10 @200	D10 @200 D10 @200				
(S6)	180	180		A.B	上下	D13 @150 D13 @150	D13 @150 D13 @150	D13 @200 D13 @200	D13 @200 D13 @200				
(S7)	150	150		A	上下	D10, D13 交互 @200 D10 @400	D10 @400 D10, D13 交互 @200	D10 @200 D10 @400	D10 @200 D10 @400				
				B	上下	D10 @250 D10 @250	D10 @250 D10 @250	D10 @250 D10 @250	D10 @250 D10 @250				
(S8)	150	150		A.B	上下	D13 @200 D13 @200	D13 @200 D13 @200	D13 @200 D13 @200	D13 @200 D13 @200				
(S9)	400	400		A.B	上下	D16 @200 D16 @100	D16 @200 D16 @100	D13 @200 D13 @200	D13 @200 D13 @200				
(S10)	250	250		A.B	上下	D13, D16 交互 @100 D13 @200	D13 @200 D13, D16 交互 @100	D13, D16 交互 @100 D13 @200	D13 @200 D13, D16 交互 @100				
(CS1)	180	180	固定端 立端	A.B	上下	D13 @200 D10 @200	D13 @200 D10 @200	D10 @100 D10 @100	D10 @100 D10 @100				
(CS2)	250	180		A.B	上下	D13, D16 交互 @100 D13 @200	D16 @200 D13 @200	D13, D16 交互 @100 D13 @200	D16 @200 D13 @200	(CS2)の立端部はCG10に 接する部分と(立端部以外 の部分)とを区別して配筋 CG10内より2500の範囲とす			
(CS3)	250	150		A.B	上下	D13, D16 交互 @100 D13 @200	D13, D16 交互 @200 D13, D16 交互 @200	D13 @200 D13 @200	D13 @200 D13 @200				
(FS1)	400	400	立端部 中央	A.B	上下	D16 @150 D16 @150	D16 @150 D16 @150	D16 @150 D16 @150	D16 @150 D16 @150				
(FS2)	250	250		A.B	上下	D16 @200 D16 @200	D16 @200 D16 @200	D16 @200 D16 @200	D16 @200 D16 @200				
土留壁	150	150		A.B		D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200				
(CS4)	180	180		A.B	上下	D13 @150 D10 @150	D13 @150 D10 @150	D13 @200 D10 @200	D13 @200 D10 @200				

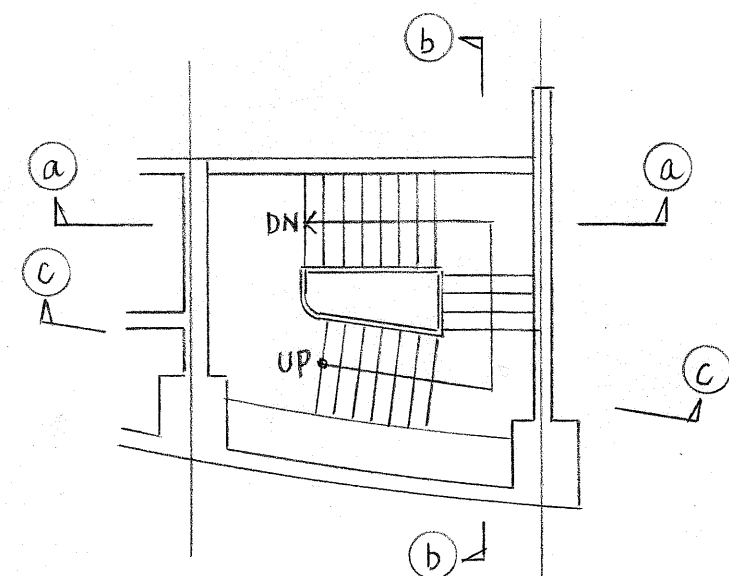


壁	壁 厚	位 置	配 筋	開 口 補 強 筋			備 考	
				開 口 部 1000×1000以下	開 口 部 1000×2000	開 口 部 2000×2000		
W15	150	たて よこ ななめ	D10 @150 シングル D10 @150 シングル	1-D13 1-D13 1-D10	1-D13 1-D13 1-D10			
W18	180	たて よこ ななめ	D10D13交互 @200 ダブル D10D13交互 @200 ダブル	1-D16 1-D16 1-D13	2-D16 2-D16 1-D13		階段を支持する場合 はたて筋D13@200 ダブルとある。	
W20	200	たて よこ ななめ	D13 @200 ダブル D13 @200 ダブル	2-D16 2-D16 1-D16	4-D16 4-D16 1-D16			
W25	250	たて よこ ななめ	D13 D16交互 @200 ダブル D13 D16交互 @200 ダブル	2-D19 2-D19 1-D16	4-D19 4-D19 1-D16			
W30 W40	300 400	たて よこ ななめ	D16 @200 ダブル D16 @200 ダブル	2-D19 2-D19 1-D16	4-D19 4-D19 1-D16			
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
		たて よこ ななめ						
壁	壁 厚	位 置	た て 方 向 配 筋			よ こ 方 向 配 筋		備 考
			上 端 部	中 央	下 端 部	端 部	中 央	
FW40	400	外側 内側	D16 @200 D16 @200	D16 @200 D16 @200	D16 @100 D16 @200	D16@200 D16@200	D16 @200 D16 @200	
		外側 内側						
		外側 内側						
		外側 内側						
		外側 内側						

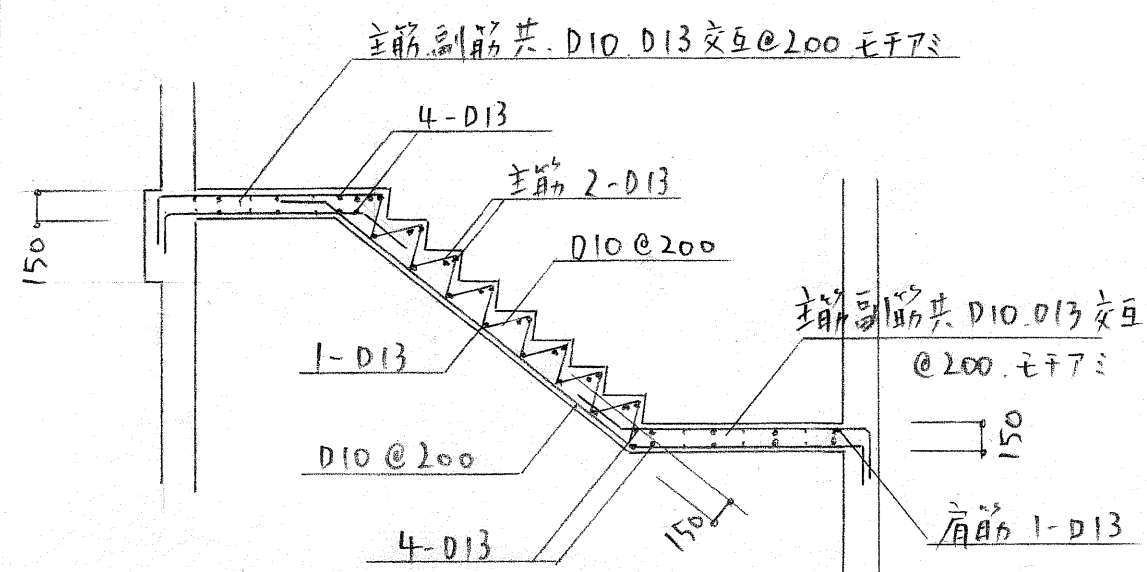
屋内階段配筋詳細図 (K1)

1/50

。階段は片持階段とする。



(注) C-C面は屋外階段一方スラブ階段配筋に準ずる

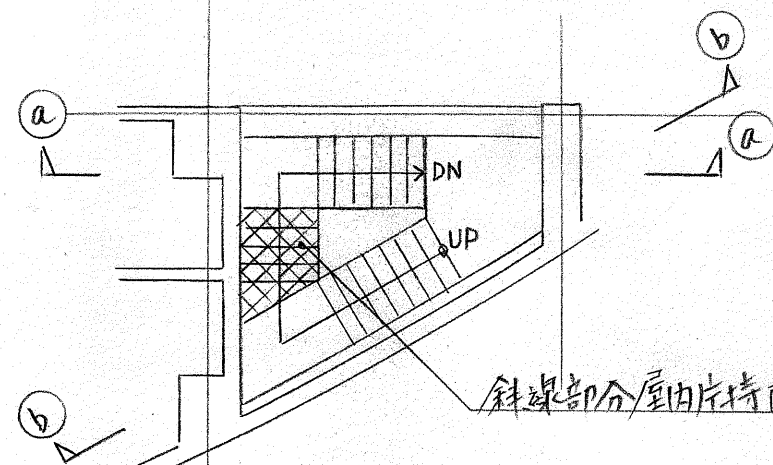


(a)-(a)面 - b-b面も同様

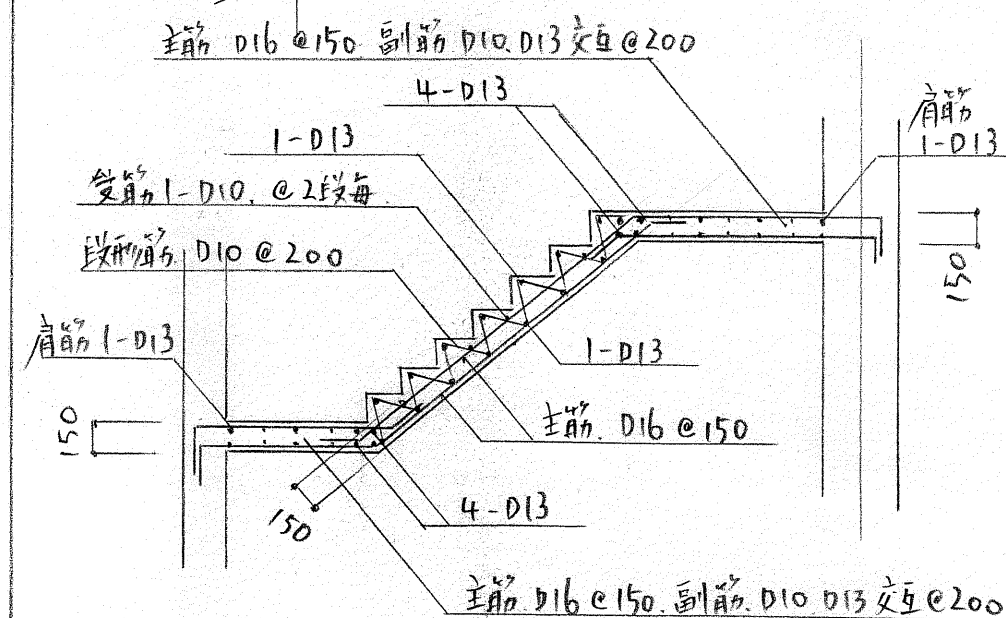
屋外階段配筋詳細図 (K2)

1/50

。階段は一方スラブ階段とする。



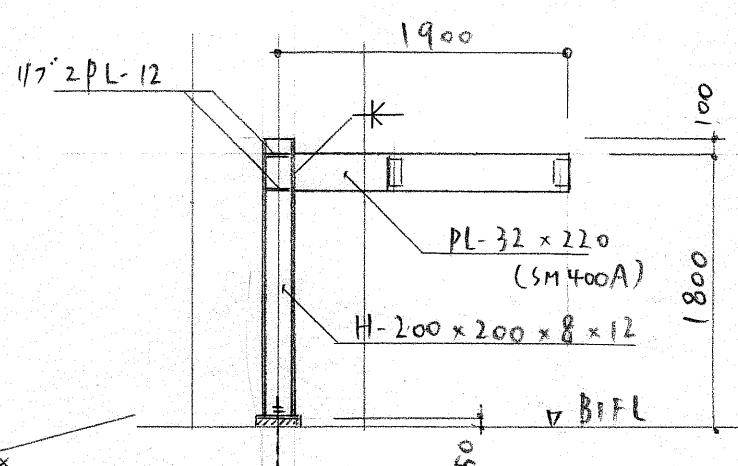
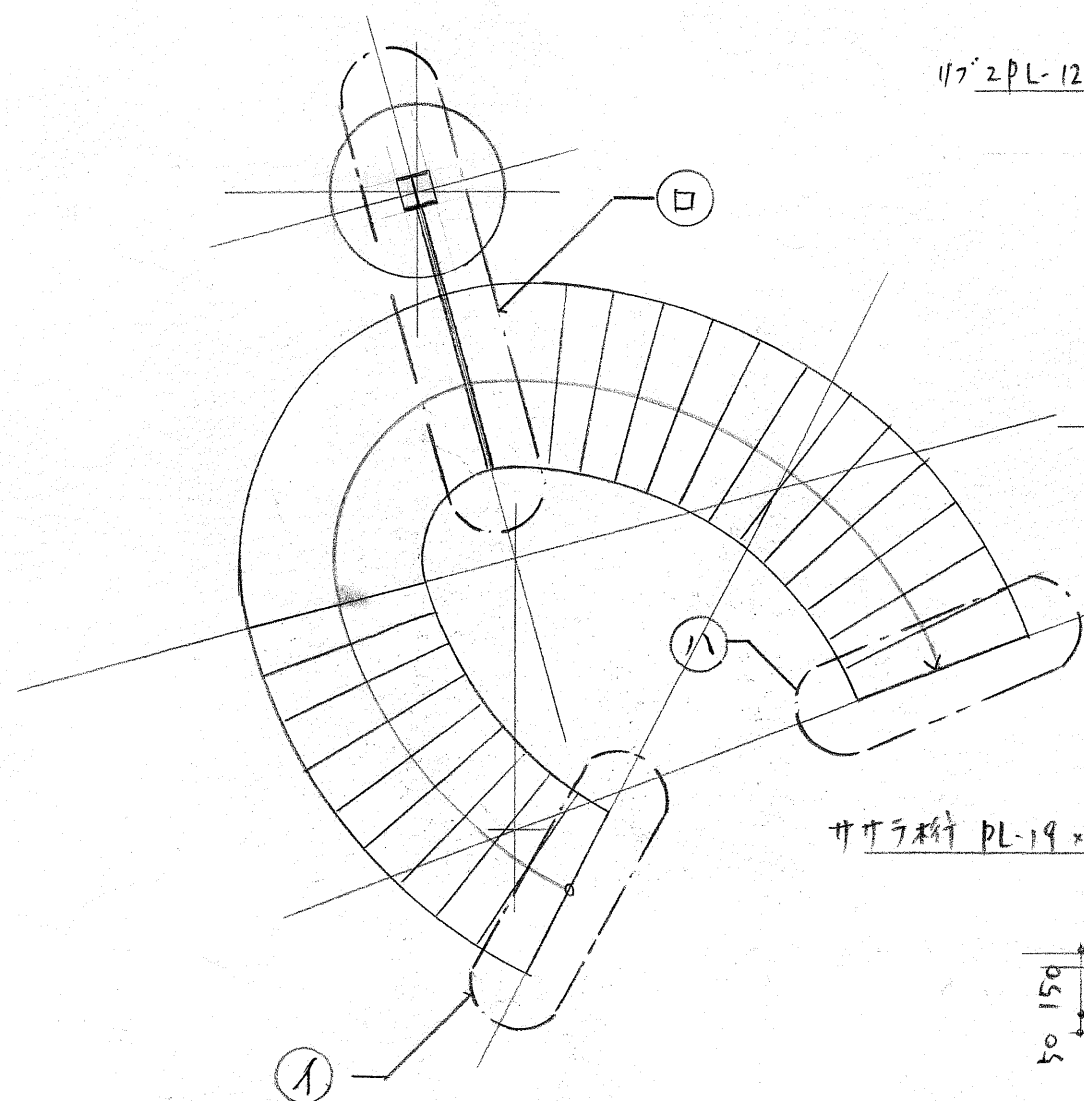
斜線部は屋内片持階段配筋に準ずる。



(a)-(a)面 - b-b面も同様

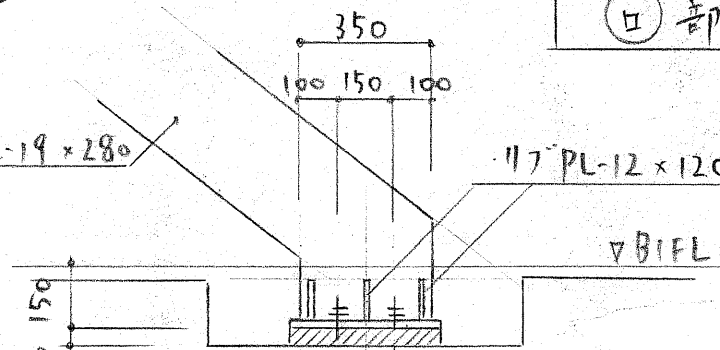
鉄骨廻り階段詳細図

1/50, 1/20

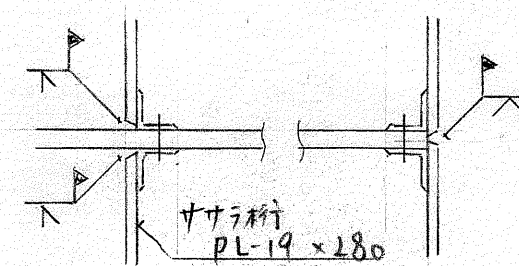


(2)部

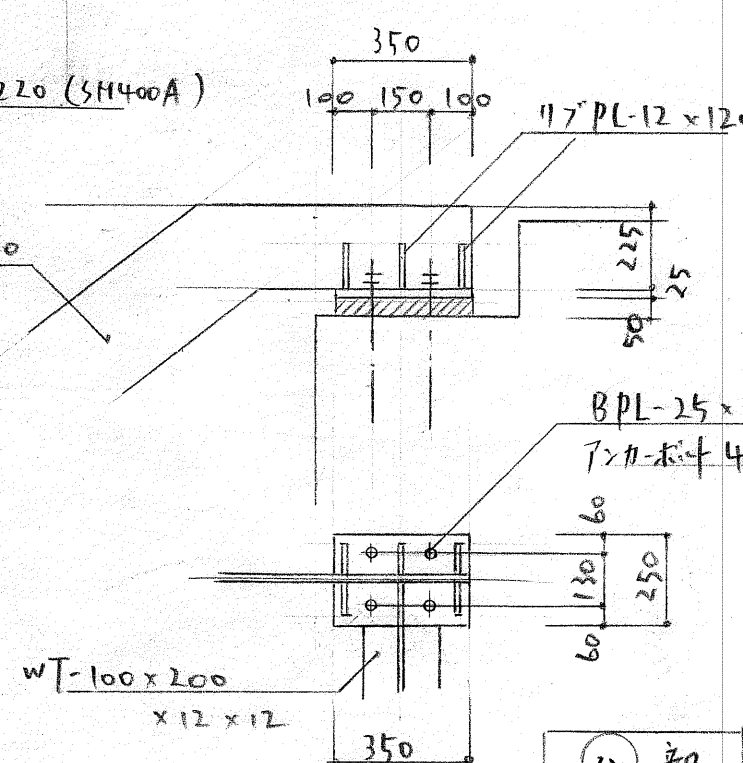
ササ材 PL-19 x 280



(1)部



ササ材 PL-19 x 280



(1)部

国民宿舎桂浜荘改築工事				縮尺	図
階段配筋図、鉄骨階段詳細図				1/50, 1/20, 1/30	
高知市建	課長	補佐	係長	係	係
築住宅課					
日建・上田設計委託業務共同企業体				NO. -	

